

# 伊勢志摩サミット三重県民会議第3回役員会

## 事項書

日時：平成27年12月18日（金）

14:30～15:30

場所：ホテルグリーンパーク津 葵・橘の間

### 1. 開会

### 2. 審議事項

- (1) 県民会議会員の追加について（案）
- (2) 伊勢志摩サミット三重県民会議 事業計画について（案）
- (3) 県民会議収支予算の考え方について（案）

### 3. 報告事項

- (1) 住民懇話会の開催について
- (2) 広報全体計画について
- (3) 県民会議公式ポスター第3弾の発表について
- (4) 応援、協賛、寄附の申込状況等について
- (5) クラウドファンディングの活用開始について

### 4. その他

### 5. 閉会

#### 【配布資料】

- ・資料1：「伊勢志摩サミット三重県民会議」会員の追加について（案）
- ・資料2-1：伊勢志摩サミット三重県民会議 事業計画（案）
- ・資料2-2：伊勢志摩サミット開催に向けた全体のスケジュール
- ・資料3：県民会議収支予算(平成27・28年度)の考え方について（案）
- ・資料4：第1回住民懇話会の実施結果について
- ・資料5-1：伊勢志摩サミット開催に向けた広報全体計画
- ・資料5-2：伊勢志摩サミット開催150日前イベントについて
- ・資料6：県民会議公式ポスター第3弾の発表について
- ・資料7：協賛、応援、寄附の申込状況等について
- ・資料8：クラウドファンディングの活用開始について
- ・参考資料1：「ポストサミット」関連事業について

・参考資料 2-1～18：県民会議各事業について

- 【2-1】 宿泊予約センターについて
- 【2-2】 配偶者プログラムについて
- 【2-3】 ジュニアサミットについて
- 【2-4】 シンボルマークの作成について
- 【2-5】 第2回伊勢志摩サミットフォーラムの開催について
- 【2-6】 県産食材等の利用促進に向けた取組について
- 【2-7】 弁当供給体制の整備について
- 【2-8-1】 クリーンアップ活動（環境美化・清掃活動）について
- 【2-8-2】 花いっぱいおもてなし運動について
- 【2-9】 ホームページ・SNSのリニューアル及び運営について
- 【2-10】 公式ポスターの展開について
- 【2-11】 カウントダウンボード・ノベルティを活用したPR展開について
- 【2-12】 プレス等を活用した情報発信の展開について
- 【2-13】 三重県情報館（仮称）について
- 【2-14】 三重県情報誌及びプレス用ハンドブックの作成について
- 【2-15】 多様な主体における国際理解・国際交流事業について
- 【2-16-1】 インフォメーション機能の整備について
- 【2-16-2】 外国語案内ボランティアについて
- 【2-17】 外務省飯倉公館でのセミナー及びレセプションの開催について
- 【2-18】 各国首脳等と県民との交流について

## 「伊勢志摩サミット三重県民会議」会員の追加について（案）

平成27年12月18日  
伊勢志摩サミット三重県民会議事務局  
総務課

## 1 対応方針

6月26日（金）に設立した「伊勢志摩サミット三重県民会議」の会員について、ジュニアサミットの北勢地区開催、県民会議主催の第1回プレスツアーの伊賀地域等での実施など、各種事業における三重県内全域での展開が本格化し、また、全県的な取り組みとなるクリーンアップ活動、花いっぱいおもてなし運動についても活動が具体化しつつあることから、広く、県内各市町及び、各市町に営業拠点を有する事業者が県民会議に参画いただくことにより、更なる全県的な開催機運醸成を図ってきたい。

※参考 伊勢志摩サミット三重県民会議規約

第4条 県民会議の会員は、別表1のとおりとする。ただし、設立総会以降参加希望の申し出があったものについては、この限りでない。

2 前項ただし書きの申し出があった場合は、会長は、これを役員会に諮らなければならない。

## 2 基本的な考え方、経緯

○県民会議の設立時には、サミットを成功させるため、県全体の総力を結集し、幅広い分野から多くの関係者の協力を得るという基本方針のもと、会員は、原則、特定の企業ではなく、各分野を代表する関係団体、NPO等、105の団体で構成している。（電気・通信、交通・運輸関係では、例外あり）

○第2回役員会（9月16日開催）において、連携を強化すべき分野（産業・経済関係、交通・運輸・警備関係、環境・市民関係、医療・衛生関係）において9会員を追加承認し、現在は114団体で構成している。

## 3 新規参画会員（26団体）

○県内25市町（津市、四日市市、松阪市、桑名市、鈴鹿市、名張市、尾鷲市、亀山市、熊野市、いなべ市、伊賀市、木曾岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町、多気町、明和町、大台町、玉城町、度会町、大紀町、紀北町、御浜町、紀宝町）

○日本郵便株式会社東海支社

## 4 その他

○今回、26団体が新規参画することにより、県民会議は全140団体となる。

○現在、参画している、三重県市長会副会長（亀山市長）及び三重県町村会会長（大紀町長）は、引き続き「役員」としてご参画継続いただく。



平成 27 年 12 月 18 日  
伊勢志摩サミット三重県民会議事務局

## 伊勢志摩サミット三重県民会議 事業計画（案）

### 1 「開催支援」に関すること

#### ◆ 伊勢志摩サミット宿泊予約センターの設置（事業番号 1）

サミット開催時に集中的に来県する関係者に対し、宿泊先となるホテル等を安定的かつ効率的に確保し、宿泊に関するサービスを一元的に提供するとともに、宿泊施設に対するサミット関係者受け入れにあたってのサポートや三重県の観光振興に係る取組などを行う伊勢志摩サミット宿泊予約センターを設置する。

#### ◆ 配偶者プログラムの提案（事業番号 2）

首脳会議が 1 泊 2 日で予定されていることから、その期間内で実施することを想定し、テーマ性やストーリー性を持たせた訪問先やコンテンツを総合的に検討し、三重県の魅力がプログラムに盛り込まれるよう、国への提案を行う。

#### ◆ 県産食材等の利用促進に向けた取組（事業番号 6）

全県をあげて、質の高い県産食材等をリストアップし、サミットにおける国の公式プログラムやレセプション等のほか、プレスツアー等の行事の食事メニューにおいて採用されるよう、県産食材等の活用を国や関係ホテル等に対して積極的に提案する。

#### ◆ 弁当供給体制の整備（事業番号 7）

伊勢志摩サミットの開催に際して、警備、消防、医療、現地スタッフ等に対し、安全・安心かつ美味しい食事を大量に継続して提供するための体制を整備し、関係者用の受注窓口を設置する。三重県産食材の使用も含めて検討を行う。

#### ◆ インフォメーション機能の整備（事業番号 16）

世界各国からの来訪者をおもてなしの心でお迎えするため、外国語案内ボランティアを幅広く募集し、地元市町・団体等との協力により、空港や駅等における移動支援・観光案内等のインフォメーション機能を提供する。

#### ◆ 輸送サービスの円滑な提供

関係者の円滑な移動のため、バス等の移動手段の運行に係る協力、支援を行う。

◆ 警備関係への協力や住民への情報提供

地元市町等と調整のうえ、住民懇話会を開催し、サミットに関する情報を、地元関係団体・住民に提供し、伊勢志摩サミット開催に対する理解促進と機運醸成、警備体制の理解を求め、住民が有する疑問や課題の解決を行う。

◆ 公式行事に伴う歓迎交流（事業番号18）

空港等における歓迎行事や歓迎レセプションを国等と連携して実施し、来県する各国首脳等に、歓迎の意を表明する。

県民（特に子どもたち）が各国首脳と触れ合う機会をつくるため、交流行事を検討する。

◆ 伊勢志摩サミットの開催機運を盛り上げるためのレセプション開催（事業番号17）

サミット関係大使館等を招き、サミットの開催機運を盛り上げるとともに三重の魅力伝えるため、レセプションを開催する。

（平成27年10月27日外務省飯倉公館にて実施済）

## 2 「おもてなし」に関すること

◆ 機運醸成に向けたサミットフォーラムの開催（事業番号5）

伊勢志摩サミットへの理解を深め、開催機運を醸成するため、「おもてなし」「明日へつなぐ」「三重の発信」などを県民とともに考えるサミットフォーラムを開催する。

◆ クリーンアップ活動・花いっぱいおもてなし運動の実施（事業番号8）

世界各国からの来訪者に対し、県民の歓迎の意を表現するとともに、一人でも多くの県民が来訪者歓迎に関わるため、全県的に環境美化・清掃活動、飾花運動を行う。キックオフイベントを行うことで県民参加による伊勢志摩サミット開催の機運醸成や参加意識の向上を目指す。

◆ カウントダウンボード、ノベルティを活用したPRの実施（事業番号11）

伊勢志摩サミットに向けて、協賛事業も活用しながら県内外の各地にカウントダウンボードを設置することで、伊勢志摩サミット開催の機運醸成を目指す。

関係閣僚会合や三重テラス等PR効果の高い県外でのイベントや三重県で開催される全国大会等において、ポストカード等の各種PRツールを用いて幅広く周知を行う。

◆ おもてなし向上研修などの実施（事業番号16）

世界各国からの訪問者に満足いただけるおもてなしを行うとともに、国際観光地としてレベルアップのため、ボランティア研修とあわせて、外国人接客研修の実施や、外国人接客用のハンドブックの制作・配布を行う。

### 3 「明日へつなぐ」に関すること

◆ ジュニア・サミットの開催（事業番号3）

三重の魅力の発信や明日へつながる交流を残すため、三重県開催が決定したジュニア・サミットについて、三重県の独自性を生かすとともに、県内高校生が参加者と交流できる機会を可能な限り設定したプランを国に提案する。

◆ 多様な主体における国際理解・国際交流事業の開催（事業番号15）

サミットの開催を契機として、サミット参加国について学ぶ機会を設け、学校や市町、民間企業・団体等、多様な主体が、国際理解・国際交流を深める機会を提供する。特に次代を担う子どもたちが多文化を理解し、国際的な視野や感覚を身に付けるきっかけとすることで、明日を担う世代の育成を目指す。

### 4 「三重の発信」に関すること

◆ シンボルマークの制定（事業番号4）

県民会議や県民会議の活動に賛同する多くの県民が自由に使用できる県民会議としてのシンボルマークを独自に作成し、広報活動に活用することで伊勢志摩サミット開催の機運醸成を行う。シンボルマーク作成にあたっては、北勢きらら学園在校時の作品が2008年の北海道洞爺湖サミットのロゴマーク公募で最優秀作として採用された近藤氏に依頼し、北海道洞爺湖サミットの経験を伊勢志摩サミットの成功と三重県の明日へつないでいく、また、多様な主体に参画いただくことを、県民会議からの強いメッセージとして発信する。

◆ ロゴマーク募集事業への協力依頼（事業番号4）

伊勢志摩サミット開催の機運醸成のため、県内学校等に向けて国のロゴマーク募集事業への積極的な協力を依頼する。

◆ ホームページ、SNSでの発信（事業番号9）

ホームページ、Facebook、Twitterを活用し、県民会議の取組、三重の魅力やサミットに向けた情報を効果的に幅広く発信する。

◆ ポスター、リーフレット、チラシ等によるPRの実施（事業番号10）

伊勢志摩サミット開催の機運醸成と県民意識の醸成を表現するため、「起・承・転・結」の構成とする「伊勢志摩サミット 2016」ポスターを第5弾まで作成し、多くの人々に伊勢志摩サミットの三重県開催のPRを実施する。

◆ プレス等を活用した情報発信（事業番号12）

国内外のメディアに三重県を取材する機会を提供し、三重県ならではの体験や三重県の多彩なコンテンツを体感いただき、三重県の魅力を国内外へ発信することで、三重県の認知度を高め、ブランドイメージの確立・浸透を図るため、プレスツアー等を実施するだけでなく、プレスツアーへの参加を呼び掛けるイベントを開催する。

◆ 三重県情報館（仮称）の設置（事業番号13）

国際メディアセンター内に、国内外から来県する多数の報道関係者等を通じて、三重県の魅力を国内外に発信するための拠点として「三重県情報館（仮称）」の設置を要望し、日本の中の「地方」の代表として三重県の伝統・文化、食、技術などの魅力を発信する。

◆ 三重テラス、関西事務所など県外でのイベント等の展開

伊勢志摩サミット開催及び開催地である三重県の全国的な発信のため、三重テラス等にて、2016年伊勢志摩サミット開催に向けたイベント等を展開するとともに、関係閣僚会合開催県と連携を図り、双方のPRを行う。

◆ 海外ミッションの機会等を利用したPRの実施

三重県での伊勢志摩サミット開催をアピールするとともに、三重県の知名度向上を図るため、海外ミッションにおいて伊勢志摩サミットに関するPRを実施する。





平成27年12月18日  
伊勢志摩サミット三重県民会議事務局  
総務課

## 県民会議 収支予算(平成27・28年度)の考え方について(案)

伊勢志摩サミット三重県民会議の収支予算(平成27・28年度)について、県及び関係市町の平成28年度当初予算編成の状況をふまえつつ、次のとおり考え方を整理したいと考えています。

### 1 収入

#### (1) 県及び市町の負担金

平成28年度の負担金について、県(雇用経済部)の当初予算要求額をもとに、平成27年度と同様の考え方(県と4市町の比率が10:1)とすることで調整中である。

#### (2) 寄附金

申込額が現時点ですでに3億1千万円を超えており、さらに増える見込みであることから、27,28両年度あわせて4億円を計上することといたしたい。

### 2 支出

#### (1) 平成27年度の執行見込み

予備費については、大半を事業の拡充分などに充当している。残り3か月であるが、国からの新たな要請なども考えられることから、引き続き一定額を確保しておくことといたしたい。

#### (2) 平成28年度の支出予定

- ① 「事業計画」に基づき事業ごとに積算し、県当初予算案として雇用経済部から要求済みであるが、その後の状況変化により、一部増額修正を行う必要が生じている。
- ② 伊勢志摩サミットを一過性のものとせず、「レガシー」を三重の未来に生かすため、予備費を計上し、「ポストサミット」関連事業に充てることといたしたい。
- ③ 平成28年度の「ポストサミット」関連事業については、県が平成28年度当初予算編成作業の中で、別枠分として要求している(サミット推進局以外の)各部局事業の中から選定いたしたい。(別添「参考資料1」参照)

### 3 今後のスケジュール

県民会議収支予算(平成27・28年度)については、現在、県や市町において調製が進められつつある平成28年度当初予算の状況をふまえ、県予算が公表される予定の2月上旬をめぐり、次回役員会を開催し、決定いただくことといたしたい。

なお、2(2)③の考え方が了解を得られた場合、平成28年度の「ポストサミット」関連事業については、企画運営部会を通じて役員会構成員に選定経過を報告させていただきたい。



## 第 1 回住民懇話会の実施結果について

## 1 開催結果

地区	伊勢市	鳥羽市	志摩市	南伊勢町
日付	12月10日(木)	11月28日(土)	11月28日(土)	11月20日(金)
時間	19:00~20:00	11:00~12:00	15:00~16:00	19:00~20:00
場所	ハートプラザみその 多目的ホール	鳥羽市民文化会館 大会議室	志摩市役所 4階会議室	南伊勢町役場 南勢庁舎3階大会議室
対象	伊勢市内全自治会長 (全175自治会)	鳥羽市内全自治会長 (全47自治会)	志摩市内全自治会長 (全49自治会)	南伊勢町内全区長 (全38区)
参加	85自治会(49%)	36自治会(76%)	38自治会(77%)	32区(84%)

## 2 内容

- (1) 三重県雇用経済部伊勢志摩サミット推進局  
伊勢志摩サミットの概要及び伊勢志摩サミット推進局  
(伊勢志摩サミット三重県民会議) の事業取組について  
説明を行った。



- (2) 三重県警察

現在、警備計画を策定中であり、早い段階で住民への情報提供をしていきたい旨説明があった。

また、不審者(物)を発見したら警察へ通報いただきたい旨協力依頼があった。

- (3) 第四管区海上保安本部

英虞湾を中心に海域の利用状況を調査中であり、今後、地域の実情に応じた適切な警備方針、警備計画を立てていきたい旨説明があった。

- (4) その他(4市町から)

市町の取組についての説明及び自治会に対して取組への協力依頼があった。

## 3 質疑応答

主に住民生活への影響を心配する質問と住民への情報提供について意見が出された。

具体的には、警備や交通規制による通勤通学、離島航路への影響、真珠・のり養殖業等への影響を心配する質問、今後の住民懇話会の開催方法の要望、行政広報紙などでのきめ細かい情報提供を要望する意見が出された。

## 4 今後の方針

- ・ 関係4市町において、平成28年2月頃に第2回、平成28年4月下旬から5月上旬にかけて第3回を実施する予定である。
- ・ 対象は、地域住民に限定せず、幅広い分野の方々に広く参加を呼び掛けたいと考えている。
- ・ 開催回数や場所については、警備関係機関や市町と調整の上、柔軟に対応したい。
- ・ 業界・団体については、会議等の場所に足を運ぶなどして、業種に応じた丁寧な説明に努めたいと考えている。







平成27年12月18日  
伊勢志摩サミット三重県民会議事務局  
事業推進課

## 伊勢志摩サミット開催150日前イベントについて

12月28日(月)は、伊勢志摩サミット開催までちょうど150日前となります。伊勢志摩サミット三重県民会議では、節目である12月28日を中心とする150日前ウィークにおいて、首都圏をはじめ、全国的な話題性の向上を図るとともに、県外の皆様にサミット開催に興味を持っていただくため、「三重テラス」でのイベントの開催やカウントダウンボードの県外設置などを実施します。

### 1 三重テラスでのイベント

首都圏の方に伊勢志摩サミットについて知っていただくため、三重テラスにおいて、一般の方々を対象に、三重県の食を体感いただくイベントと、サミットトークセッションを開催します。

#### (1)「三重県の誇り！食を欲張り体感！」

- ①日時 平成27年12月27日(日) 13時～16時
- ②場所 三重テラス 2Fスペース(東京都中央区日本橋室町2-4-1)
- ③内容 1.大口秀和志摩市長による伊勢まぐろ解体ショー&試食  
2.松阪牛の試食(松阪肉牛共進会優秀賞一席のサミット価格の牛)  
3.三重いちご・マルゴみかんの試食・販売  
4.伊勢茶の試飲・販売  
5.その他(鳥羽市産あらめ巻、伊勢市産蓮台寺柿干し柿の試食等)

※参加無料

#### (2)「伊勢志摩サミット開催150日前記念トークセッション」

- ①日時 平成27年12月28日(月) 13時～14時(開場12時)
- ②場所 同上
- ③出席者 堀口 文宏氏(みえの国観光大使)  
溝渕 将史氏(外務省大臣官房伊勢志摩サミット・広島外相会合準備事務局総括次長)  
鈴木 英敬(伊勢志摩サミット三重県民会議会長(三重県知事))  
司会 大西 敬子氏(タレント、三重いちごプロモーションキャラクター)
- ④内容 テーマ「伊勢志摩サミットとは何か、サミット開催で三重県はどう変わる」  
※参加無料、事前申込必要(先着60名程度)  
※来場者には、三重県育種品種の「かおり野」いちごを2パックプレゼント。

## 2 カウントダウンボードの県外設置

200日前ウィークにて総計361台設置したカウントダウンボードについて、さらに県外設置を進め、東海地区、首都圏を中心とした全国発信へつなげます。新たに50台を各地に設置し、200日前ウィーク以降に応援事業で設置していただいた106台に加えて、総計517台となる予定です。

### (1) 県民会議による設置【計5台】

- ・外務省（1台）※三重県森林組合連合会による協賛
- ・鉄道駅構内（近鉄：3台（難波駅、京都駅、名古屋駅））
- ・伊勢市役所（1台）※伊勢市から県立伊勢工業高等学校に製作を依頼

### (2) 企業等による応援事業として新たに設置【計45台】

三重交通グループ40台（各バスターミナル出札所等）、中日本高速道路(株)4台（東名阪自動車道御在所SA上下線・伊勢湾岸自動車道長島PA上下線）、(株)津松菱1台を設置いただく予定です。

### (3) 開催200日前以降、企業等の応援事業として既に設置【計106台】

(株)第三銀行41台、JAグループ三重61台、三重テレビ放送(株)2台、紀北町観光協会1台、(株)サン・シャイン1台

## 3 県内市町、各県庁舎での懸垂幕・横断幕の設置

### (1) 設置日 平成27年12月28日（月）

※ 当日の天候等により、設置日が個別に変更となる場合があります

### (2) 設置期間 設置日から平成28年5月27日まで

### (3) 場所 各県庁舎、各市町庁舎 合計40か所

### (4) 内容

伊勢志摩サミット開催150日前を契機に、県内市町、各県庁舎へ懸垂幕・横断幕を掲出し、より一層伊勢志摩サミット開催機運の醸成を図ります。

## 4 公式ポスター第3弾発表

公募した第3弾ポスターの制作発表を12月18日（金）に実施し、開催150日前を機に、順次掲出を開始します。

## 5 第2回伊勢志摩サミットフォーラム

来年5月に開催する伊勢志摩サミットに向けて、開催機運を醸成するとともに、「おもてなし」、「明日へつなぐ」、「三重の発信」などについて県民の皆さんと考えるため、第2回伊勢志摩サミットフォーラムを開催します。

### (1) 日時 平成28年1月16日（土）13時～15時45分

### (2) 場所 鈴鹿医療科学大学 白子キャンパス 講堂（鈴鹿市南玉垣町3500-3）

### (3) 内容

#### ① 講演

「伊勢志摩サミットのレガシー（遺産）を生み出す“おもてなし”戦略とは」

講師：中村好明氏（ドン・キホーテグループ (株)JIS 代表取締役社長）

## ②トークセッション

テーマ：「おもてなし、食を中心とした情報発信、サミットのレガシー（遺産）」

スピーカー：山田文比古氏（東京外国語大学教授）、ラース・ニコライゼン氏（ドイツ通信社東京支局長）、清水慎一郎氏（清水清三郎商店株式会社代表取締役）、森川徹氏（外務省大臣官房報道課長）、中村好明氏（株式会社J I S代表取締役社長）

コーディネーター：鈴木英敬（伊勢志摩サミット三重県民会議会長（三重県知事））

（4）申込受付中（締切日12月16日）

## 6 市町・県と連携した広報

市町や県各部署が主催するイベント等でポスターやのぼり等を掲示することによりサミットのPRを行います。

### ■市町イベント（ポスター・のぼり掲示等）

年月日	行事名	場所	担当
H27. 12. 13（～2月頃まで）	イルミネーションライトアップ	五ヶ所児童公園	南伊勢町総務課
H27. 12. 19-28	三重紀北町年末きいながしま港市	紀北町長島港内特設会場	年末きいながしま港市実行委員会
H27. 12. 19	北勢線サンタ電車	三岐鉄道北勢線電車車内および西桑名駅ホーム	桑名市都市整備課
H27. 12. 19	すわ公園から光の贈りもの・イルミカフェ	すわ公園交流館	四日市市商業勤労課
H27. 12. 20	1000000人のキャンドルナイト in すわ公園	諏訪公園	四日市市商業勤労課
H27. 12. 20	第10回タキスポ ジョギング&マラソン大会	天啓公園	多気町スポーツ協会
H27. 12. 20	松阪市子ども・子育てフォーラム～子どもと家庭を地域で支え、はぐくむまち・松阪～	農業屋コミュニティ文化センター	松阪市福祉事務所 こども未来課
H27. 12. 27	第6回おいしいまち南伊勢町歳末物産市	南伊勢町町民文化会館～役場の路上	南伊勢町観光商工課

■県各部署イベント（ポスター・のぼり掲示等）

年月日	行事名	場所	担当課
H27.12.13	三重の魚×京野菜の宴（仮称）	京都市むすび食堂	農林水産部水産資源課
H27.12.11-24	第103回日本列島心のふるさと 観光展	曾根崎地下歩道「み ちまちスクエア」（大 阪市北区梅田）	雇用経済部 関西事務所
H27.12.13	伊勢茶～手もみ茶づくりを体験 しよう～	まちライブラリー@ 大阪府立大学	雇用経済部 関西事務所
H27.12.19	第3回 COOL MIE トークライブ 2015	三重テラス	雇用経済部三重県営 業本部担当課
H27.12.14-26	第27回姫路グランフェスタ観光 展	JR姫路駅前地下街 グランフェスタ6番 街	雇用経済部 関西事務所
H27.12.19-20	平成27年度三重県障がい者芸術 文化祭	伊勢市生涯学習セン ターいせトピア	健康福祉部 障がい福祉課
H27.12.20	「宮城県×広島県×三重県」 牡蠣競演イベント	東京交通会館 1Fピロティ	農林水産部 水産資源課
H27.12.20	平成27年度こどもの事故防止講 演会	三重県医師会館	健康福祉部こども・家 庭局子育て支援課
H27.12.22	平成27年度三重県栄養改善大会 みえの食フォーラム	三重県総合文化 センター	健康福祉部医療対策 局健康づくり課
H27.12.27	夢追人 吉田沙保里大賞 表彰式	津市芸濃総合文化セ ンター	地域連携部スポーツ 推進局スポーツ推進 課

※上記に加え、調整中のイベントや節目期間外にサミットPRにご協力いただくイベントも多数あります。

7 応援事業等との連携

年月日	行事名	場所	主催
H27.12.19-28	三重紀北町年末きいながしま 港市での出展（27日のみ）	紀北町長島港内特 設会場	年末きいながしま港 市実行委員会

※加えて、年末きいながしま港市実行委員会による応援事業として「年末きいながしま港市」で伊勢志摩サミット開催150日前のPRと各ブースでのサミット記念商品の販売を通じ、サミットPRを行っていただきます。

8 関係閣僚会合開催の自治体との相互PR

関係閣僚会合開催の自治体と連携を図り、PRポスターの交換掲出などを順次行い、効果的な全国発信へとつなげるよう調整を行います。

平成27年12月18日  
事業推進課

## 伊勢志摩サミット三重県民会議公式ポスター第3弾の発表について

伊勢志摩サミット三重県民会議では、公式ポスターの第3弾として、県民会議の基本方針の一つである「おもてなし」をテーマとしたデザインを広く公募し、選考委員会にて審査を進めてまいりました。

このたび、第3弾ポスターデザインが決定しましたので、その発表をするとともに、本日、最優秀賞及び優秀賞受賞者の表彰式を行いました。

### 記

#### 1 第3弾ポスター発表、表彰式

(1) 日時：平成27年12月18日（金）13時30分～14時00分

(2) 場所：三重県庁3階 プレゼンテーションルーム

(3) 出席者

（最優秀賞受賞者）

愛知県名古屋市 家田 幸奈 さん グラフィックデザイナー

（優秀賞受賞者）

度会郡玉城町 奥山 知香 さん グラフィックデザイナー

兵庫県神戸市 有村 綾 さん イラストレーター

岐阜県海津市 丹羽 和乃 さん グラフィックデザイナー

（県民会議）

鈴木 英敬 伊勢志摩サミット三重県民会議会長・三重県知事

西城 昭二 伊勢志摩サミット三重県民会議事務総長

#### 2 決定までの経過

(1) 応募期間 平成27年10月14日（水）から11月13日（金）

(2) 募集テーマ サミット開催に向けてのおもてなしの心

(3) 応募件数 22件

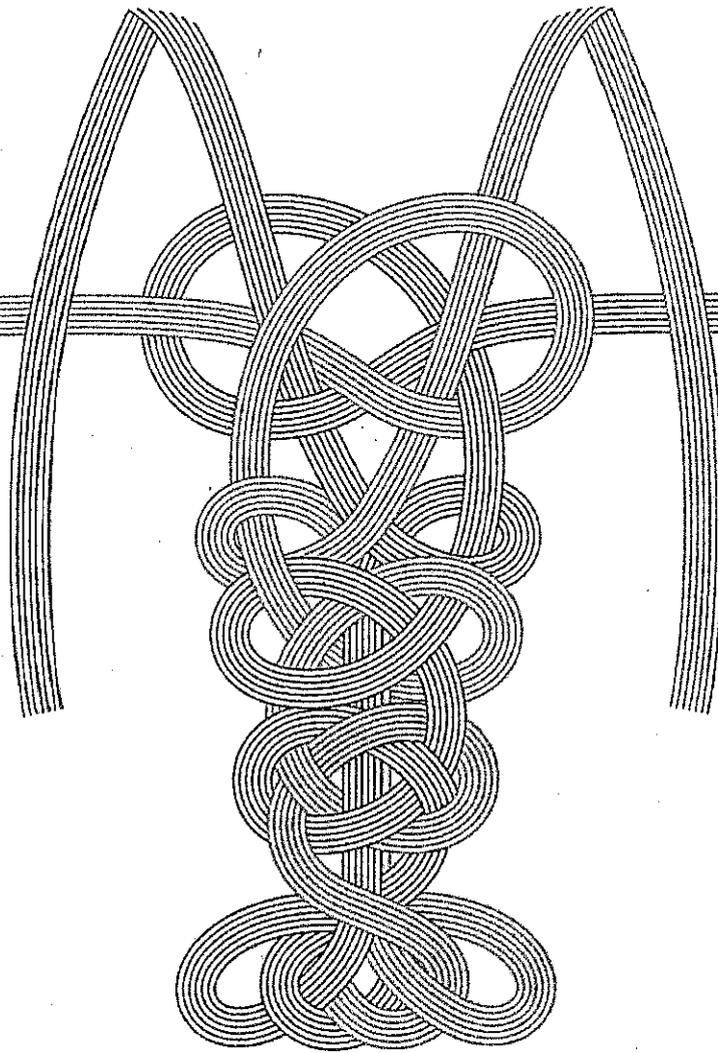
(4) 第一次審査 平成27年11月19日（木）から24日（火）までに、  
応募作品の中から各選考委員に作品の推薦をいただく。

(5) 第二次審査 平成27年11月26日（木）  
第一次審査にて推薦のあった全作品を推薦数別に提示し、  
4作品を選定。（作品については事務局にて著作権等調査を実施）

(6) 第三次審査 平成27年12月14日（月）  
4作品から最優秀作品の選考について、選考委員の意見を踏まえ  
座長が決定し、会長（知事）が承認。

#### 3 最優秀賞デザイン 別紙のとおり





# 伊勢志摩サミット

ISE-SHIMA SUMMIT

2016.5.26・27開催



## 協賛、応援、寄附の申込状況等について

平成27年12月18日

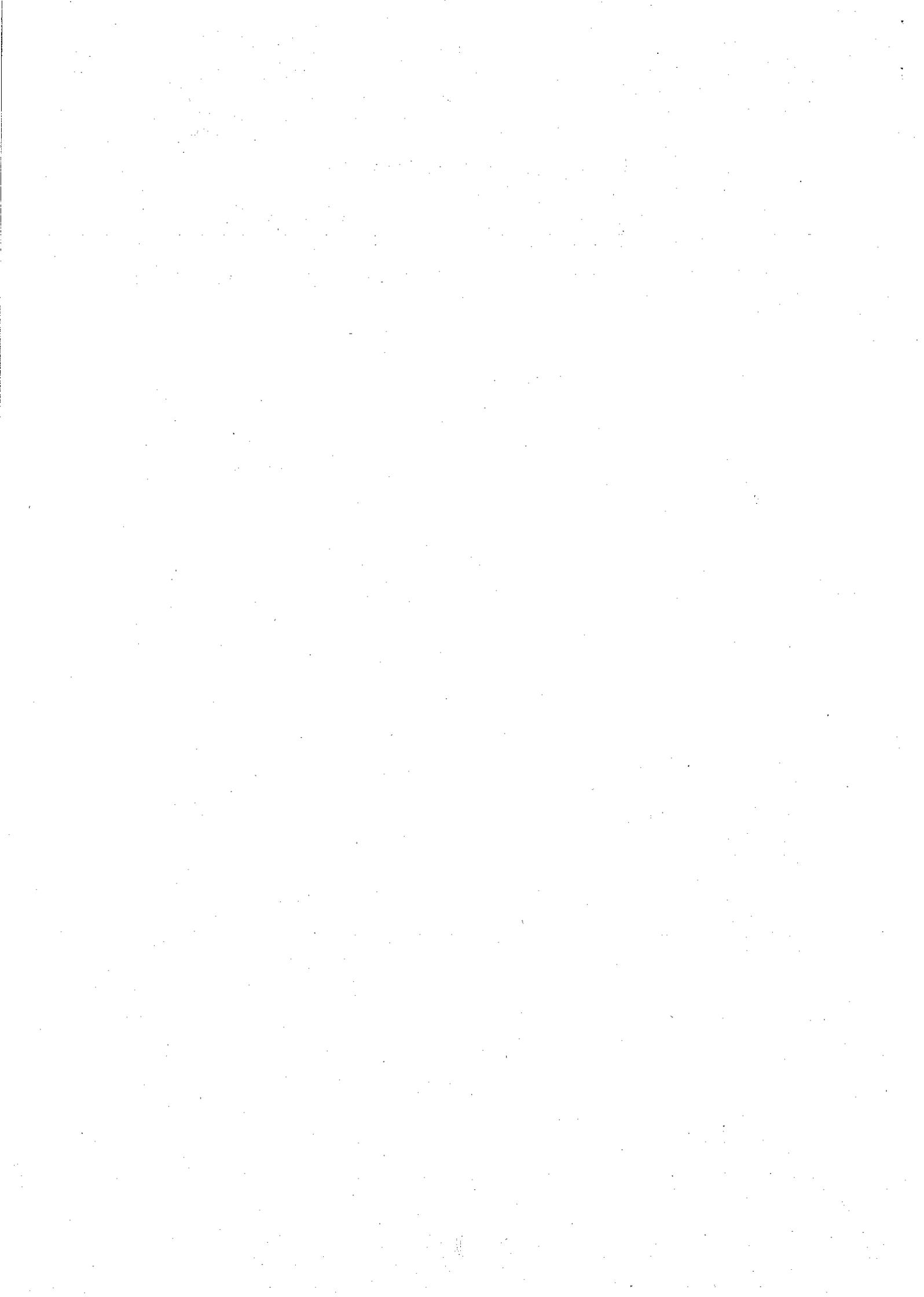
協賛、応援、寄附の募集にかかる12月16日時点での申込状況は、下記のとおりです。

協 賛	応 援
38件 うち登録31件	342件 うち登録298件

寄 附			
合計		264件	374,736,838円
内 訳	法人		184件 356,688,000円
	個人	一般	75件 18,037,538円
		クラウド ファンディング	5件 11,300円

## 〔備考〕

- ・協賛、応援の事業提案内容は、別添のとおりです。
- ・12月16日から、クラウドファンディングを開始しました。



協賛、応援申込状況

H27.12.16 時点

伊勢志摩サミットにかかる協賛、応援について、現時点での申込状況は、下記のとおりです。

- 〔備考〕・登録欄の「済」は登録済のもの、空欄は審査中のものです。
- ・公表欄の「○」は内容の公表に同意があるもの、「×」は公表を希望しないものです。
- ・登録欄の「取下」は申請者の事情により申請を取り下げたものです。申請件数には含まれません。

【協賛】

申請件数	38
うち登録件数	31

申込者一覧

番号	受付日	提案者名	提案内容	登録	公表
1	H27.8.28	三重トヨタ自動車株式会社	クリーンアップ運動へのごみ袋等提供他	済	○
2	H27.9.3	尾鷲名水株式会社	サミットの出席者、スタッフにミネラルウォーターを提供	済	○
3	H27.9.11	「小さな親切」運動三重県本部	ごみ袋3万枚(JT協賛)配布し小中学校、企業等とともに、県民会議と同一週に環境美化活動実施	済	○
4	H27.9.11	百五銀行「小さな親切」の会	百五銀行の行員3,000名がサミット開催の直前週に環境美化活動実施	済	○
5	H27.9.16	株式会社宝輪	HOWAビル津(県民会議事務局入居)の空いている立体駐車場を無償貸与	済	○
6	H27.9.18	株式会社アクアイグニス	県民会議が主催するイベント・各種レセプション等へ「伊勢海老パイ」を提供	済	○
7	H27.9.24	—	—		○
8	H27.9.25	—	—		○
9	H27.9.25	—	—		○
10	H27.9.25	—	—		○
11	H27.10.5	三重畜産有限会社	サミット関連事業へ牛肉、豚肉、加工品等を提供	済	○
12	H27.10.14	新日本工業株式会社	伊勢志摩サミットの情報誌、パンフレットを入れるケースを作成し提供	済	○
13	H27.10.16	東紀州ヒロメ養殖協議会	県民会議が主催するイベント・各種レセプション等へ東紀州の特産品「ヒロメ」を提供	済	○
14	H27.10.20	マックスバリュ中部株式会社	伊勢志摩サミット関連イベントを対象とした店頭催事スペースの無償貸与	済	○
15	H27.10.26	—	—	済	後日公表
16	H27.10.28	株式会社マルゴ水産	催事会場等へ三重県産活あさり、しじみ、はまぐりの提供	済	○
17	H27.10.30	—	—		○
18	H27.10.30	日本たばこ産業株式会社 東海支社	観光、宿泊、警備、報道関係など、人が集まる場所へのスタンド灰皿の提供	済	○
19	H27.11.2	株式会社プラトンホテル	ミス・ユニバース三重ファイナリストによる「伊勢志摩サミット」応援大使	済	○
20	H27.11.2	学校法人鈴鹿医療科学大学	第2回伊勢志摩サミットフォーラム会場となる鈴鹿医療科学白子キャンパスを無償貸与	済	○
21	H27.11.5	大石 小石	サミット関連事業参加者へ本真珠のタイタックとカフセット提供	済	○
22	H27.11.5	黒瀬町自治会	第62回式年選宮にて使用した子供乗せ車をレセプション会場等での展示のため貸与	済	○
23	H27.11.6	株式会社赤福	レセプション開催時の「赤福茶屋」出展	済	○
24	H27.11.6	松阪牛協議会	レセプション開催時の各種商品提供	済	○
25	H27.11.6	日本トランスシティ株式会社	外国語ボランティアの派遣(20~30人程度)	済	○
26	H27.11.10	マイスターコーティング鈴鹿店	県民会議が行うイベントのトイレなどをコーティングする技術を提供	済	○
27	H27.11.12	JAグループ三重	イベント・レセプション等へ伊勢茶ペットボトルを3,310本提供	済	○
28	H27.11.13	株式会社電通名鉄コミュニケーションズ	各種アイテムのデザインやイメージの統一化を図るため伊勢志摩サミット共通デザインを提供	済	○
29	H27.11.16	三重県生活衛生同業組合連合会	県民会議のクリーンアップ活動に参加(約100名規模)	済	○
30	H27.11.16	株式会社三重興農社	飾花用のプランターを150個程度提供	済	○
31	H27.11.17	—	—	済	後日公表
32	H27.11.17	株式会社大洋工芸	イベント等でパネルなどを展示する際に必要な展示用ボードを無償提供	済	○
33	H27.11.20	おぼろタオル株式会社	サミット関連事業の参加者等へフェイスタオル500枚を提供	済	○
34	H27.12.1	—	—		○
35	H27.12.2	NTN株式会社 伊勢志摩サミット応援プロジェクト	複合型(風力・太陽光)の街路灯を10基提供	済	○
36	H27.12.8	—	—		○
37	H27.12.8	三重県森林組合連合会	カウントダウンボード(小)×1基、(大)×2基の提供	済	○
38	H27.12.8	有限会社森と水を守る会	各種会場等へ「森の番人」ペットボトル500ml×5,000本提供	済	○
39					
40					

【応援】

申請件数	342
うち登録件数	298

申込者一覧

番号	受付日	提案者名	提案内容	登録	公表
1	H27.8.28	株式会社百五銀行	百五観光アカデミー開催	済	○
2	H27.8.28	堀口文宏の志摩っついこうぜ運営委員会	志摩の魅力動画を番組、SNS等で配信	済	○
3	H27.8.28	三重の大酒蔵市実行委員会	県内の酒蔵と四日市市飲食店のコラボイベント	済	○
4	H27.9.1	村林浩代ソプラノリサイタル実行委員会	リサイタルの売上の一部を県民会議へ寄附	済	○
5	H27.9.2	JAグループ三重 JA事業サポートセンター	「伊勢志摩サミット2016」ポスターの店頭掲示	済	○
6	H27.9.2	「名港水上芸術花火2015」開催委員会	名古屋港ガーデンふ頭でサミット記念花火大会	済	○
7	H27.9.2	イオンリテール株式会社	県内店舗で伊勢志摩サミットポスターの掲示	済	○
8	H27.9.2	マックスバリュ中部株式会社	県内店舗で伊勢志摩サミットポスターの掲示	済	○
9	H27.9.2	イオンリテール株式会社	関西圏店舗で「三重県フェア」開催	済	○
10	H27.9.2	三重信用金庫	「伊勢志摩サミット記念定期」を販売し利息の一部を寄附	済	○
11	H27.9.3	キリンビールマーケティング株式会社	記念デザイン肩ラベル品販売、売上1本につき1円を寄附	済	○
12	H27.9.3	三重県漁業協同組合連合会	伊勢志摩サミット開催PRのための看板設置	済	○
13	H27.9.4	一般社団法人三重県食品衛生協会	サミット成功に向け食中毒を発生させないセミナー開催	済	○
14	H27.9.4	—	—		○
15	H27.9.4	—	—	済	×

番号	受付日	提案者名	提案内容	登録	公表
16	H27.9.4	—	—	済	×
17	H27.9.4	全国詩曲音楽連盟	サミットの記念曲(イメージソング)の制作	済	○
18	H27.9.9	エールアドエイジェンシー合同会社	北勢エリアの社員募集情報誌へのポスターの無料掲載	済	○
19	H27.9.9	—	—	済	×
20	H27.9.10	アサヒビール株式会社 中部統括本部	伊勢志摩サミットラベル商品の販売および売上1本につき1円を寄附	済	○
21	H27.9.10	アサヒビール株式会社 中部統括本部	松阪牛や東紀州の真鯛等が当たるキャンペーンの実施	済	○
22	H27.9.10	近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社	「伊勢志摩サミット2016」ポスターの店頭掲示	済	○
23	H27.9.11	株式会社第三銀行	伊勢志摩サミット開催記念定期を販売し、抽選で特産品等をプレゼント	済	○
24	H27.9.14	株式会社百五銀行	伊勢志摩サミット記念定期預金を販売し、抽選で近鉄しまかぜツアーをプレゼント	済	○
25	H27.9.15	株式会社百五銀行	主要14ヶ店のロビーにWi-Fiを整備する	済	○
26	H27.9.16	株式会社宝輪	HOWAビル津(県民会議事務局入居)壁面にサミットポスター掲出	済	○
27	H27.9.17	三重交通グループホールディングス株式会社	サミットデザイン缶バッチを作成し、グループ11社の社員が着用	済	○
28	H27.9.17	株式会社百五銀行	クレジットカードを一定額以上利用した方から抽選で伊勢志摩地域のレストラン食事券をプレゼント	済	○
29	H27.9.18	—	—	済	×
30	H27.9.18	一般社団法人日本アマチュア無線連盟 三重県支部	サミット開催記念のCall Signを取得後、国内外のアマチュア無線局と交信し三重県をPR	済	○
31	H27.9.18	伊藤印刷株式会社	伊勢志摩サミット開催記念応援グッズ(缶バッチ・三重県旗・シール)を販売し、売上の一部を寄附	済	○
32	H27.9.24	特定非営利活動法人ほがらか絵本畑	伊勢志摩サミットを機会に海外を身近に感じるため、絵本を使った勉強会やセミナーを実施	済	○
33	H27.9.24	日本ボーイスカウト 伊賀第1団 カブ隊	伊勢志摩サミットに関する子ども向け学習会実施(テーマ:世界の国々に)	済	○
34	H27.9.25	まちづくり団体 楽笑(Raku-Sho)	志摩発の女性会議:伊勢志摩女子サミットG7(ガールズセブン)を開催	済	○
35	H27.9.25	株式会社百五ディーシーカード	会員向け「ご利用代金明細書」(毎月約8,000通)へ寄付金募集の案内を掲載	済	○
36	H27.9.28	株式会社第三銀行	本支店(特に県外店舗)ロビーに「伊勢志摩サミット2016」のポスターを掲示	済	○
37	H27.9.29	三重テレビ放送株式会社	特別番組「世界のリーダーたちが三重に」7/5放送(インターネットでの公開9/16~)	済	○
38	H27.9.29	三重テレビ放送株式会社	特別番組「県民みんなで盛り上げよう伊勢志摩サミット」9/21放送(インターネットでの公開10月予定)	済	○
39	H27.9.29	三重テレビ放送株式会社	伊勢志摩サミット特設ウェブサイトの開設	済	○
40	H27.9.29	三重テレビ放送株式会社	伊勢志摩サミットの話題を重点的に紹介する「伊勢志摩サミット応援ウィーク」の実施	済	○
41	H27.9.29	三重テレビ放送株式会社	三重テレビのスタジオに卓上サミット告知プレートを設置	済	○
42	H27.9.29	神風講社雅楽部	伊勢志摩サミット開催を雅楽演奏会のポスターに掲載し、会場内に横断幕を掲揚する。	済	○
43	H27.9.29	NTN株式会社	近鉄線沿いの建屋壁面に横断幕2枚(伊勢志摩サミット、ジュニアサミット各1枚)を設置	済	○
44	H27.9.29	株式会社青葉	天然ミネラルウォーターのペットボトルに「伊勢志摩サミット」応援文字を貼付。売上の一部を寄附。	済	○
45	H27.9.29	近鉄グループホールディングス株式会社	近鉄各駅、近鉄GHD各社等で、ポスター(県民会議製作分および自主製作分)掲出など	済	○
46	H27.9.30	株式会社百五銀行	会員向け「ご利用代金明細書」(毎月約15,000通)へ寄付金募集の案内を掲載	済	○
47	H27.9.30	三重畜産有限公司	サミット応援商品の開発、販売で三重県産牛・豚の魅力をPR	済	○
48	H27.9.30	鳥羽志摩農業協同組合	鳥羽志摩地域の農産物を使用した「G7ランチプレート」の販売	済	○
49	H27.10.1	株式会社第三銀行	ホームページでサミット開催までの日数をカウントダウン	済	○
50	H27.10.1	伊勢鉄道株式会社	全車両のドア内側上部に三重県地域連携部が作成したサミット開催ステッカーを掲示	済	○
51	H27.10.2	伊勢志摩サミット応援ツール制作センター	ビジュアルの統一された応援ツールを作成し、地域を伊勢志摩サミット一色に彩るプロモーション事業を行う。	済	○
52	H27.10.2	株式会社コイサズ	三重の食材を利用したパンを毎月3種類販売(7か月)、28年5月には全21種類一斉販売	済	○
53	H27.10.5	株式会社TA西村	瞬間冷凍した三重県の特産物に「祝 伊勢志摩サミット開催」などのシールやステッカーを貼る	済	○
54	H27.10.5	伊勢志摩真珠館	「伊勢志摩サミット お祭り広場」として伝統工芸・文化、伊勢志摩特産品等の販売	済	○
55	H27.10.5	株式会社ダイレクトカーズ	尾錠レキ家具と伊勢型紙を使用したオリジナルカーを「伊勢志摩サミット開催記念車」としてイベント等で展示	済	○
56	H27.10.5	東邦ガス株式会社 三重支社	①折り込みチラシ・手配りチラシに伊勢志摩サミットをPR②ガス展示場へのポスター掲示	済	○
57	H27.10.6	石田鉄工株式会社	①アコヤ真珠貝殻入り景観グレーチングを開発②グレーチングカタログにサミットポスターを掲載	済	○
58	H27.10.7	石田鉄工株式会社	①展示会(東京ビックサイトなど)自社ブース内にポスター掲示②社内にポスター掲示	済	○
59	H27.10.7	鳥羽シーサイドホテル株式会社	フロントロビーやホームページでのサミットPR実施や、館内全室WiFi設置など	済	○
60	H27.10.7	鳥羽観光会館ビル株式会社	①鳥羽1番街建物へ「サミット歓迎」懸垂幕②1階コンシェルジュでサミット案内業務実施	済	○
61	H27.10.7	皇学館大学	NIPPONの原点を学ぶ三重の魅力発信セミナー「うまし国 伊勢志摩の神話と日本文化」実施	済	○
62	H27.10.8	鳴海製陶株式会社/三重ナルミ株式会社	「伊勢志摩サミット」をテーマにしたオリジナルグッズとして伊勢志摩発のメモリアルギフト等の新製品を開発	済	○
63	H27.10.8	株式会社柿安本店	グループ約300店舗で「サミット開催記念 美し国三重県フェア」として業販に合わせたオリジナルメニュー開発	済	○
64	H27.10.9	日本通運株式会社 三重支店 伊勢営業所	各拠点へのポスター掲示および従業員の名刺へのロゴ記載によるサミット開催PR	済	○
65	H27.10.9	一般社団法人三重県建設業協会	伊勢志摩サミット応援ポスターを作成し、会員企業の事務所や工事現場に掲示	済	○
66	H27.10.13	一般社団法人三重県産業廃棄物協会	伊勢志摩地域の産業廃棄物不法処理防止パトロール及び不法投棄撤去作業	済	○
67	H27.10.13	北伊勢上野信用金庫	「伊勢志摩サミット2016」ポスターの店頭掲示	済	○
68	H27.10.13	JAグループ 三重	伊勢志摩サミット応援メッセージを記載した県内茶試供品の配布	済	○
69	H27.10.13	いせ毎日会・毎日新聞伊勢支局	「伊勢まつり」にブース出展を行い、伊勢志摩サミットをPR	済	○
70	H27.10.14	近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社	関西地区の直営店30店舗、提携店約50店舗に伊勢志摩サミットポスターを掲示	済	○
71	H27.10.14	三重テレビ放送株式会社	津まつりの三重テレビブースで「伊勢志摩サミットにちなんだめり絵」の実施	済	○
72	H27.10.14	株式会社NTTドコモCS東海 三重支店	県内ドコモショップ39店舗での伊勢志摩サミットポスターの掲出	済	○
73	H27.10.15	まちなか文化祭実行委員会	「まちなか文化祭」当日に配布するチラシ等でサミット開催をPR	済	○
74	H27.10.15	三重県市町村職員共済組合	三重市町村会館および「サンペララ志摩」でポスターの掲示・リーフレット据え置き	済	○
75	H27.10.15	三岐鉄道株式会社	駅および車内への伊勢志摩サミットポスターおよび三重県地域連携部作成ステッカーの掲出	済	○
76	H27.10.16	株式会社上田新工業	会社入り口に伊勢志摩サミットポスターの掲示	済	○
77	H27.10.16	株式会社上田新工業	ホームページに「伊勢志摩サミット開催を応援しています」文言、シンボルマークを掲載	済	○
78	H27.10.16	三重執鬼株式会社	地元中学校での出前講座で使用するパワーポイントにシンボルマーク掲載	済	○
79	H27.10.16	三昌物産株式会社	自社カタログ等にサミットポスター掲載、商品にも統一シンボルマークを貼付	済	○
80	H27.10.19	—	—	済	×
81	H27.10.19	株式会社伊勢新聞社	購読者部数約10万部の伊勢新聞でカウントダウン広告掲載	済	○
82	H27.10.19	株式会社伊勢新聞社	伊勢志摩サミット開催200日前にあたる11月8日に別冊で伊勢志摩サミット特集を実施	済	○
83	H27.10.19	株式会社ピースプレーアコーポレーション	販売物(餃子、餃子のたれ、みそだれなど)にシンボルマークを貼付	済	○
84	H27.10.19	はあと福祉タクシー	チラシ、ホームページに「伊勢志摩サミットを応援しています」の文言、売上の一部を寄附	済	○
85	H27.10.19	有限会社観光旅館 福寿荘	サミットに合わせた客室のリニューアルおよびイメージチラシにシンボルマークを使用	済	○
86	H27.10.19	株式会社ミエライス	米袋にシンボルマークを掲載	済	○
87	H27.10.19	三交興業株式会社	名阪関ドライブイン、名阪上野ドライブインの入口看板にシンボルマークを掲載	済	○
88	H27.10.20	津市ボランティア協議会	つ・環境フェスタで缶バッチつくりコーナーを出展し、そこでシンボルマークの線画を用意	済	○
89	H27.10.20	糸川屋製菓株式会社	商品にシンボルマークを掲載	済	○
90	H27.10.20	東邦ガス株式会社 三重支社	名刺にシンボルマーク掲載	済	○

番号	受付日	提案者名	提案内容	登録	公表
91	H27.10.20	イオンリテール株式会社	三重県内のイオン19店舗で三重県産品の販売や観光情報発信などのイベント実施	済	○
92	H27.10.20	三重県信用金庫協会	「三重県しんきんレポート」へ応援メッセージの掲載	済	○
93	H27.10.20	マックスバリュ中部株式会社	三重県内全店舗へのカウントダウンボード設置	済	○
94	H27.10.21	JAグループ三重	三重県内厚生連病院院内モニターにて「伊勢志摩サミットを応援しています」旨のPR	済	○
95	H27.10.21	有限会社居酒屋ふぐや	サミット応援商品(食事メニュー)を開発し、売上の一部を寄附	済	○
96	H27.10.21	ヒストリックカーミーティング実行委員会	伊勢志摩サミットのイベントとして「CLASSIC CAR SUMMIT」を開催しサミットをPR	済	○
97	H27.10.21	三重県漁業協同組合連合会	①魚等の出荷に使用する箱にサミットをPRするシールを貼付 ②事務所にポスターを掲示	済	○
98	H27.10.22	損害保険ジャパン日本興亜株式会社	全都道府県の国内拠点1,204か所伊勢志摩サミットポスターの掲示	済	○
99	H27.10.22	三重県商工会連合会	みえのうまいもん物産展におけるポスター展示等	済	○
100	H27.10.22	三重県商工会連合会	みえまると物産展におけるポスター展示及びPRブースの設置	済	○
101	H27.10.22	三重県商工会連合会	三重県商工会大会における大会誌への伊勢志摩サミットPR及びパンフレット配布	済	○
102	H27.10.22	三重県商工会連合会	商工会全国大会におけるPR資料の配布及びPRブースの設置	済	○
103	H27.10.22	三重県商工会連合会	全国物産展におけるPRブースの設置	済	○
104	H27.10.22	八千代エンジニアリング株式会社 名古屋支店	本社を含む全支店に伊勢志摩サミットポスターならびに応援メッセージを掲載	済	○
105	H27.10.23	臼井織布株式会社	①応援商品の開発、シンボルマークを使用したシールを商品へ貼付②ポスターの掲出	済	○
106	H27.10.23	三重県馬車畜産振興協議会	「三重の馬い畜産物大抽選会」の告知に併せサミット応援メッセージを記載およびHPでの告知実施	済	○
107	H27.10.23	日本バーテンドー協会三重県本部三重支部	三重支部の会員店舗40店舗でサミットポスター掲出	済	○
108	H27.10.23	—	—	済	×
109	H27.10.23	伊勢形紙協同組合	「匠の里・伊勢型紙フェスタ」会場におけるサミットポスターの掲示	済	○
110	H27.10.23	有限会社ウラケイパール	商品や看板へシンボルマークを表示	済	○
111	H27.10.23	株式会社百五銀行	全店舗のロビー(一部店舗を除く)にカウントダウンボードを設置	済	○
112	H27.10.23	株式会社百五銀行	役職員の名刺にシンボルマークを表示	済	○
113	H27.10.26	中部電力株式会社 三重支店	独自でカウントダウンボードを製作し、自社施設へ設置	済	○
114	H27.10.26	志摩市観光協会	「御食つ国・志摩 年末海旅市」にて伊勢えびなど県産食材の発信と伊勢志摩サミットをPR	済	○
115	H27.10.26	志摩市観光協会	「海女小屋体験施設 さとうみ屋」通常料金3,500円を3,310円(サミット)で提供	済	○
116	H27.10.26	志摩市観光協会	志摩市観光協会会員(会員数452)へ向けてポスター掲示依頼	済	○
117	H27.10.26	志摩市観光協会	①ホームページへサミット開催に伴う情報掲出②会員が開発したサミット関連商品情報を掲載	済	○
118	H27.10.26	志摩市観光協会	「伊勢志摩ふるさと交流会」内でのポスター配布	済	○
119	H27.10.26	志摩市観光協会	「わらじ祭り」でサミット開催記念のぼり旗を設置しサミットをPR	済	○
120	H27.10.26	NTT西日本三重支店	名刺・封筒・クリアファイルにシンボルマーク(シール)を貼付して開催をPR	済	○
121	H27.10.27	三重エフエム放送株式会社	「広瀬陸のラジオ魂!伊勢志摩サミット200日前スペシャル」で、取組、県民の声、経済効果など放送	済	○
122	H27.10.27	株式会社百五銀行	「百五観光アカデミー おもてなしコンサル」開催	済	○
123	H27.10.27	NTT西日本三重支店	「Free-WiFi-MIE」のアクセスポイントの充実および無料利用時間の拡大	済	○
124	H27.10.27	マックスバリュ中部株式会社	サミット応援商品にシンボルマークを貼付	済	○
125	H27.10.27	中日新聞社広告局	サミット開催100日前特集記事および対談紙面を掲載	済	○
126	H27.10.27	伊勢志摩俳句サミット協議会	伊勢志摩サミットを応援する俳句大会を開催	済	○
127	H27.10.27	全国尾鷲節コンクール実行委員会	「全国尾鷲節コンクール」の開催ポスター、パンフレットでサミットをPR	済	○
128	H27.10.28	第三カードサービス株式会社	「ご利用明細書」(毎月約7,000~8,000通)およびホームページへ寄付金募集の案内を掲載	済	○
129	H27.10.28	株式会社サルゴ水産	本社へのポスター掲示、関係者へのポスター配布	済	○
130	H27.10.28	津市指定無形文化財 白塚獅子舞保存会	保存会事務所へのポスター掲示、関係者へのポスター配布	済	○
131	H27.10.28	有限会社 龍宮	シンボルマークを利用したポスター、POP、商品タグ等を制作しPR	済	○
132	H27.10.28	三重トヨペット株式会社	試乗車・社用車に応援メッセージ入りステッカーを掲示など9企画実施	済	○
133	H27.10.28	協同組合オールニッポンギフト	ギフトカタログの表紙にシンボルマークを掲載	済	○
134	H27.10.28	三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」	「男女共同参画フォーラム」にてポスター掲示およびパンフレットへのシンボルマーク表示	済	○
135	H27.10.28	—	—	済	後日公表
136	H27.10.29	株式会社ホクキャスト	シンボルマークをデザインしたグレーチングを開発	済	○
137	H27.10.29	北伊勢上野信用金庫	ウインターキャンペーンのチラシに「協賛、応援、寄附」募集の案内を掲載	済	○
138	H27.10.29	ボートレース津	伊勢志摩サミット開催記念「全国ご当地大集合サミット」を開催	済	○
139	H27.10.29	株式会社三重銀カード	「ご利用明細」およびホームページに寄附についての告知表記を掲載	済	○
140	H27.10.30	—	—	済	後日公表
141	H27.10.30	三重県産業廃棄物対策推進協議会	三重県鳥羽市答志島奈佐の浜での伊勢湾漂着ゴミ海岸清掃活動	済	○
142	H27.10.30	NPO法人三重補助犬普及協会	「つ・環境フェスタ」「いせトピア」でポスターシンボルマーク等でPR	済	○
143	H27.10.30	イオンモール東員	シンボルマークを使用したサミット応援ワッペンを作成	済	○
144	H27.11.2	近畿日本ツーリスト株式会社 津支店	JR・クーポン袋(10万部作成)を活用した伊勢志摩サミット三重県開催告知	済	○
145	H27.11.2	近畿日本ツーリスト株式会社 津支店	JR時刻表(3,500部)への伊勢志摩サミット三重県開催広告掲載	済	○
146	H27.11.2	—	—	済	×
147	H27.11.2	株式会社プラトンホテル	ミスユニバース三重ファイナリストによる「伊勢志摩サミットカウントダウンブログ」	済	○
148	H27.11.2	株式会社プラトンホテル	自社館内に「伊勢志摩サミット応援」のぼり旗設置	済	○
149	H27.11.2	社会福祉法人洗心福祉会	法人が運営する県内約100事業所に「伊勢志摩サミット2016」ポスターを掲示	済	○
150	H27.11.2	赤塚グループ(株式会社赤塚環境物産、株式会社赤塚、株式会社エフエフジャパン)	店頭に横断幕やのぼり旗を設置するとともに情報誌などへ掲載	済	○
151	H27.11.2	南長野12志会	「伊勢志摩サミット 日本のおもてなし」をテーマにした南長野イルミネーション2015	済	○
152	H27.11.2	—	—	済	後日公表
153	H27.11.2	中島製茶株式会社	自社製品にシンボルマークラベルを貼付て販売	済	○
154	H27.11.4	有限会社アンドウセイイ	名刺にシンボルマークシールを入れる	済	○
155	H27.11.4	株式会社第三銀行	役職員の名刺にシンボルマークシールを貼付	済	○
156	H27.11.4	株式会社総本家具新新七商店	商品にシンボルマークを貼り、サミットを応援	済	○
157	H27.11.4	NEMU HOTEL & RESORT	TV放映CM内で「2016年5月伊勢志摩サミットの応援事業」のテロップを表示	済	○
158	H27.11.4	株式会社三重銀行	伊勢志摩サミット応援融資「伊勢志摩サミット」応援ファンドの取扱	済	○
159	H27.11.4	株式会社三重銀行	伊勢志摩サミット応援融資「事業者向けフリーローン・クイック」金利優遇キャンペーン	済	○
160	H27.11.4	株式会社三重銀行	デジタルサイネージを活用した、サミット開催までのカウントダウン表示	済	○
161	H27.11.4	株式会社三重銀総研	リージョネット三重「伊勢志摩サミット応援キャンペーン」の実施	済	○
162	H27.11.4	サラヤ株式会社	名刺、カタログ、ホームページ等でシンボルマークを使用	済	○
163	H27.11.4	三重北農業協同組合	ペットボトルのフィルムに開催応援とシンボルマーク掲載	済	○
164	H27.11.5	細川酒造株式会社	「三重路上馬ビール」等の商品にシンボルマークを貼り、開催を広く周知	済	○

番号	受付日	提案者名	提案内容	登録	公表
165	H27.11.5	ゆくりかレコーズ	楽曲「海と真珠と神様と」(メルヘン堂)の伊勢志摩サミットタイアップ曲	済	○
166	H27.11.5	—	—	済	後日公表
167	H27.11.5	株式会社百五銀行	「飲食店の外国人受入準備セミナー」を開催	済	○
168	H27.11.5	株式会社第三銀行	41営業店にカウントダウンボード表示(営業店内デジタルサイネージ表示)	済	○
169	H27.11.6	HEAL IN 四日市	自社ホームページに伊勢志摩サミットホームページのリンクを貼付	済	○
170	H27.11.6	紀北町観光協会	紀北町観光案内 紀北町観光サービスセンター壁面にカウントダウンボード設置	済	○
171	H27.11.6	—	—	済	○
172	H27.11.6	洋菓子ナポレオン	①自社商品にシンボルマークシールを貼付②店頭にサミットポスター掲示	済	○
173	H27.11.6	JAグループ三重	伊勢志摩サミット応援シールを役職員の名刺の貼付	済	○
174	H27.11.6	JAグループ三重	HPへのカウントダウン表示と伊勢志摩サミットHPへのリンクを貼付	済	○
175	H27.11.6	JAグループ三重	第42回JA三重大会記念品への伊勢志摩サミット応援メッセージの記載	済	○
176	H27.11.9	桑名信用金庫	冬のボーナス「ウインターキャンペーン」への応援メッセージの掲載	済	○
177	H27.11.9	桑名信用金庫	小学生以下を対象とした「子供用通帳」開設キャンペーンチラシに応援メッセージを掲載	済	○
178	H27.11.9	三重県鶏卵販売農業協同組合	伊勢志摩サミットポスターを道路側窓に掲示	済	○
179	H27.11.9	一般社団法人三重県飼料価格安定基金協会	伊勢志摩サミットポスターを道路側窓に掲示	済	○
180	H27.11.9	ヤマナカフーズ株式会社	商品にシンボルマークラベルを添付し販売	済	○
181	H27.11.9	NPO法人天満浦百人会	天満荘において①サミット開催をPRする行燈を設置②サミットポスターを掲示	済	○
182	H27.11.9	みえリーディング産業展2015実行委員会	「みえリーディング産業展2015」にて「伊勢志摩サミット開催記念クイズ大会」を開催	済	○
183	H27.11.9	株式会社三重県松阪食肉公社	伊勢志摩サミットポスターの掲示	済	○
184	H27.11.9	三重県賃貸住宅経営者協会	「賃貸経営セミナー」での伊勢志摩サミットPR(講演会開催)	済	○
185	H27.11.10	丸之内商店街振興組合	2015年歳末大売り出しで各加盟店がサミット応援セールを実施	済	○
186	H27.11.10	三重交通グループホールディングス株式会社	ホームページへ①応援メッセージ②カウントダウン③シンボルマークを表示	済	○
187	H27.11.10	三重県社会就労センター協議会・社会福祉法人三重県社会福祉協議会	平成27年度東海北陸社会就労センター研究協議会三重大会の冊子にシンボルマークを掲載	済	○
188	H27.11.10	—	—	済	×
189	H27.11.10	株式会社サン・シャイン	のぼり、ジャンパー(すべて新日本工業製作)を使用しサミットをPR	済	○
190	H27.11.10	—	—	取下	×
191	H27.11.10	株式会社第三銀行	お客様配布用のカレンダーにサミット開催日までのカウントダウン表示	済	○
192	H27.11.10	三重県信用保証協会	①本支店の各フロアにポスター掲示②名刺にシンボルマーク③封筒などにシンボルマーク	済	○
193	H27.11.10	富士ゼロックス三重株式会社	「観光サービス支援Solution Fair 2015」のお客様への案内チラシにシンボルマーク掲載	済	○
194	H27.11.11	株式会社クラユニコーポレーション	ホームページ、名刺、商品チラシへサミット応援メッセージの掲載	済	○
195	H27.11.12	株式会社トーエネック 三重支店	三重県内にある10事業場の玄関周辺にサミットののぼりを設置	済	○
196	H27.11.12	NTN株式会社 産業機械事業本部	伊勢志摩サミット・ジュニアサミットPRを目的とした横断幕設置	済	○
197	H27.11.13	池坊 伊勢支部	JR伊勢市駅内の展示スペース①いけ花をサミットに向けて充実②ポスター掲示	済	○
198	H27.11.13	北伊勢上野信用金庫	定期預金満期案内のメッセージ欄に「協賛、応援、寄附」募集の案内を掲載	済	○
199	H27.11.13	アサヒビール株式会社 中部統括本部	グループ会社の飲食店舗および周辺にサミットポスター掲示	済	○
200	H27.11.13	鈴鹿花き温室組合	第33回品評会テーマを「フラワーサミットin鈴鹿～サミットの机上を飾る花～」とし、ポスター掲示	済	○
201	H27.11.13	大内山酪農農業協同組合	大紀公園の牛乳パックモニュメント正面に応援メッセージとシンボルマークを表示	済	○
202	H27.11.13	—	—	済	×
203	H27.11.13	—	—	済	×
204	H27.11.13	—	—	済	○
205	H27.11.13	三重県真珠養殖連絡協議会	全国尾鷲節コンクールに「伊勢志摩サミット特別賞」として真珠製品を提供し、サミットをPR	済	○
206	H27.11.16	中部電力株式会社 三重支店	電柱広告へサミット応援メッセージとシンボルマークを掲載	済	○
207	H27.11.16	中部電力株式会社 三重支店	従業員の名刺に「サミット応援メッセージとシンボルマーク」シールを貼付	済	○
208	H27.11.16	ビジネス・INN・フェニックス	フロントが伊勢志摩サミットのブルゾン(新日本工業製作)を着用	済	○
209	H27.11.16	富士ゼロックス三重株式会社	名刺裏面にサミット開催案内とシンボルマーク掲載	済	○
210	H27.11.16	株式会社一号館	広告に日程案内とシンボルマーク掲載、商品パッケージにシンボルマーク貼付	済	○
211	H27.11.16	(公財)三重県生活衛生営業指導センター	旅館ホテル・飲食店・理美容等の業者を対象に「おもてなし研修」を実施	済	○
212	H27.11.16	(公財)三重県生活衛生営業指導センター	旅館ホテル・飲食店・理美容等の業者を対象に「衛生管理研修」を実施	済	○
213	H27.11.16	三重県生活衛生同業組合連合会	加盟店舗を「おもてなし いせい サービスステーション「OSSS」として道案内およびトイレを提供	済	○
214	H27.11.16	三重県生活衛生同業組合連合会	シンボルマークを掲載した「おもてなし いせい サービスステーション「OSSS」」ポスターを加盟店舗に掲示	済	○
215	H27.11.16	三重県生活衛生同業組合連合会	加盟店舗に分煙の表示を推進	済	○
216	H27.11.16	三重県生活衛生同業組合連合会	県民会議作成の伊勢志摩サミットポスターを加盟店舗に掲示	済	○
217	H27.11.16	小林 美智代	伊勢志摩サミット応援歌オリジナルCD・DVDにシンボルマーク表示	済	○
218	H27.11.16	—	—	済	後日公表
219	H27.11.16	株式会社CBCテレビ	小学生の親子を対象とした三重伝統工芸ワークショップを開催し、サミットをPR	済	○
220	H27.11.16	THK株式会社 三重工場	①工場内にサミットポスター掲示②缶バッジを作成し工場従業員が着用	済	○
221	H27.11.17	伊勢志摩サミット応援ツール制作センター	みえリーディング産業展2015にて「伊勢志摩サミット応援ツール制作センター」のPRコーナーを設置	済	○
222	H27.11.17	年末・さいながしま港市実行委員会	年末・さいながしま港市で、出品希望業者によるサミット記念商品の販売と専用ポップの掲示	済	○
223	H27.11.17	—	—	済	○
224	H27.11.17	日本郵便株式会社 東海支社	三重県、愛知県、岐阜県、静岡県郵便局窓口ロビー等へサミットポスター掲出	済	○
225	H27.11.17	有限会社伊勢文化舎	「ぼるく伊勢志摩」でサミットの話題を継続的に取り上げるとともにシンボルマーク掲載	済	○
226	H27.11.17	株式会社橋本屋徳兵衛	自社商品にシンボルマークを貼付	済	○
227	H27.11.17	NEMU HOTEL & RESORT	ポスター掲示、伊勢志摩サミット開催決定記念プランの販売	済	○
228	H27.11.19	—	—	済	後日公表
229	H27.11.19	鳥羽商工会議所	新春講演会で①「観光地の国際」をテーマとする②チラシにシンボルマーク	済	○
230	H27.11.19	三重県職員信用組合	ディスクロージャー誌の表紙に賢島の風景、裏面にシンボルマークを表示	済	○
231	H27.11.19	中日本高速道路株式会社 名古屋支社 桑名保安サービスセンター	高速道路のサービスエリアにシンボルマークを表示したカウントダウンボード設置	済	○
232	H27.11.20	株式会社伊藤園	「お茶で三重を美しく。」キャンペーンを実施し、サミット前の「伊勢湾再生」等の環境保全活動に貢献	済	○
233	H27.11.20	井村屋グループ株式会社	近鉄名古屋駅構内に伊勢志摩サミット開催をPRする広告を掲示	済	○
234	H27.11.20	株式会社柿安本店	伊勢志摩の食材を活用したセミナーにおいて、会場内にポスター及びのぼり掲示	済	○
235	H27.11.24	株式会社津松菱	①店内にポスター掲示 ②店内放送 ③折込広告にカウントダウン掲載 ④カウントダウンボード設置	済	○
236	H27.11.24	株式会社朝日屋	第66回松阪肉牛共進会において優秀賞1席に選ばれた出品牛をサミット価格3,310円で落札	済	○
237	H27.11.24	荒川制服株式会社	シンボルマークを名刺に貼付	済	○
238	H27.11.24	歌のおくりもの実行委員会	クラシックコンサートでサミット参加7か国の音楽を演奏し、解説を交えて紹介	済	○

番号	受付日	提案者名	提案内容	登録	公表
239	H27.11.24	有限会社バイテック	①サミット応援ポスターの制作、掲示②サミット開催応援イベントの実施と記念セール	済	○
240	H27.11.25	割烹ヤマニ	伊勢志摩サミット開催応援歌「三重のシンボル小唄」を作曲、演奏	済	○
241	H27.11.25	商工中金(津支店、四日市支店)	東海地区5店舗にサミットポスター掲示②職員名刺およびノベルティにシンボルマークシール貼付	済	○
242	H27.11.25	株式会社三重寿庵	商品のパッケージ、販促物にシンボルマーク貼付	済	○
243	H27.11.25	国立大学法人三重大学	サミットの開催に合わせて「環境・省エネに貢献するスマートキャンパス国際シンポジウム」を開催	済	○
244	H27.11.25	水King株式会社 中部支店	社内報にシンボルマーク、ポスター、応援メッセージを掲載	済	○
245	H27.11.25	—	—	取下	×
246	H27.11.25	株式会社第三銀行	情報配信サービス「LINE@第三銀行」でサミット応援メッセージを配信	済	○
247	H27.11.25	読売新聞中部支社	伊勢志摩サミットを紹介する特集記事を掲載	済	○
248	H27.11.26	株式会社稲藤	店舗等にポスターを掲示	済	○
249	H27.11.26	JAグループ三重	三重県下JAの店舗内モニターにてカウントダウン表示を付した応援メッセージ画像を放映	済	○
250	H27.11.26	美しい森林づくり全国推進会議、公益社団法人国土緑化推進機構、ハートツリー株式会社	映画「うみやまあひだ」のチャリティ上映会やトークショー等の開催時に伊勢志摩サミットをPRなど	済	○
251	H27.11.26	三重交通グループホールディングス株式会社	グループ情報誌の裏表紙にシンボルマークと応援メッセージを掲載	済	○
252	H27.11.26	三交不動産株式会社	自社テナントビルである「三重会館」1階にサミットポスター掲出	済	○
253	H27.11.26	公益社団法人伊勢志摩観光コンベンション機構	ホスピタリティ向上のための「和食」研修会を開催、会場建物にポスターおよびのぼり掲出	済	○
254	H27.11.26	四日市商工会議所女性部	四日市商工会議所女性部会員事業所(90社)の店頭にてサミットポスター掲示	済	○
255	H27.11.26	三重フィルハーモニー交響楽団	演奏会の告知ポスター・リーフレットにシンボルマークを掲載	済	○
256	H27.11.27	石原 健哉	伊勢志摩サミット開催記念「光の芸術 石原健哉 花火写真展」を開催し収益の一部を寄附	済	○
257	H27.11.30	NTN株式会社 伊勢志摩サミット応援プロジェクト	伊勢志摩サミット公式ポスターの三重県内のNTN各事業所への掲示	済	○
258	H27.11.30	NTN株式会社 伊勢志摩サミット応援プロジェクト	東京ビックサイトの展示会に出展するブースにポスターを掲示	済	○
259	H27.11.30	—	—	済	後日公表
260	H27.11.30	株式会社稲藤	サミット応援商品を開発し、シンボルマークシールを貼付	済	○
261	H27.11.30	三重県ピーシーエー協会	ホームページトップ画面にシンボルマーク掲載	済	○
262	H27.11.30	三重テレビ放送株式会社	役職員の名刺にシンボルマーク掲載	済	○
263	H27.11.30	三重テレビ放送株式会社	サミット特設ページの中にシンボルマーク掲載	済	○
264	H27.11.30	三重テレビ放送株式会社	三重テレビの番組を紹介する冊子にシンボルマークを掲載	済	○
265	H27.11.30	三重テレビ放送株式会社	三重テレビ自社制作番組でのカウントダウンボード設置	済	○
266	H27.11.30	三重テレビ放送株式会社	伊勢志摩サミットイメージソングの制作(歌詞は募集)	済	○
267	H27.11.30	—	—	済	後日公表
268	H27.11.30	中部電力株式会社 三重支店	三重テレビ放送、FM三重と連携して運営する「ゲンキ3ネット」でサミット特設サイトを新規に制作	済	○
269	H27.11.30	三重テレビ放送株式会社	中部電力、FM三重と連携して運営する「ゲンキ3ネット」でサミット特設サイトを新規に制作	済	○
270	H27.11.30	—	—	済	○
271	H27.11.30	鳥羽志摩農業協同組合	「伊勢志摩サミット開催決定記念特別企画 加茂牛G7とばーがー」の実施	済	○
272	H27.11.30	株式会社ナミカワ	店頭カウンタおよび接客コーナーへサミットポスター掲示	済	○
273	H27.11.30	株式会社ナミカワ	シンボルマークと開催期間を印刷したシールを名刺、封筒、会社案内、カタログへ貼付	済	○
274	H27.11.30	一般財団法人書籍交流研究所 ヒップファミリークラブ	教育講演会「7か国語で話そう。」実施およびチラシにシンボルマーク掲載	済	○
275	H27.12.1	株式会社イチミ	伊勢志摩サミットの開催日とシンボルマークをPRするタオルを顧客へ配布	済	○
276	H27.12.1	桑原鋳工株式会社	サミット応援商品として、シンボルマークを入れた鍍鉄瓶を製作、販売	済	○
277	H27.12.1	—	—	済	○
278	H27.12.1	三重県中小企業団体中央会	ポスターや幟を掲示、会員向けに機関誌・ホームページ・メール配信などでサミットを周知	済	○
279	H27.12.1	特定非営利活動法人いこいの森	伊勢志摩サミット応援企画として日本の伝統文化「和風」に各国首脳の似顔絵を描き展示	済	○
280	H27.12.2	ナカムラ産業有限公司	伊勢志摩特産物の商品パッケージにシンボルマークラベル貼付	済	○
281	H27.12.2	株式会社中広	「さみっとくらぶ」巻頭特集で、地元住民向けにサミット情報を発信	済	○
282	H27.12.2	NTN株式会社 伊勢志摩サミット応援プロジェクト	近鉄名古屋線、JR関西線から見える社屋最上階にジュニアサミットの横断幕を設置	済	○
283	H27.12.2	日本太鼓財団 三重県支部	県内5~8か所にてサミット開催歓迎の和太鼓演奏イベントを実施、シンボルマーク横断幕を掲出	済	○
284	H27.12.2	四日市諏訪太鼓 龍雅	県内5~8か所にてサミット開催歓迎の和太鼓演奏イベントを実施、シンボルマーク横断幕を掲出	済	○
285	H27.12.2	業平夢太鼓	県内5~8か所にてサミット開催歓迎の和太鼓演奏イベントを実施、シンボルマーク横断幕を掲出	済	○
286	H27.12.2	美杉連山のろし太鼓保存会	県内5~8か所にてサミット開催歓迎の和太鼓演奏イベントを実施、シンボルマーク横断幕を掲出	済	○
287	H27.12.2	響豊	県内5~8か所にてサミット開催歓迎の和太鼓演奏イベントを実施、シンボルマーク横断幕を掲出	済	○
288	H27.12.3	やすらぎくんネット	第15回鈴鹿川流域の環境展会場においてサミットポスター掲示	済	○
289	H27.12.3	株式会社野田米菓	志摩産の伊勢海老を使ったあられを新発売し、POPに応援メッセージ掲載	済	○
290	H27.12.3	三重リコピー株式会社	「Value Presentation 2015」会場にサミットコーナーを設置し、ポスター+ビデオでPR	済	○
291	H27.12.3	横山桜会、七栗村	①サミット応援ラベルを貼り付けた商品を販売②「横山さくらまつり」でサミットをPR	済	○
292	H27.12.4	中部電力株式会社 三重支店	伊勢志摩サミット応援イベント～「親子で学ぶ!世界一楽しい授業」実施	済	○
293	H27.12.4	三重県漁業協同組合連合会	洞爺湖サミットの開催地である北海道と連携して「サミット連携 北海道・三重県お魚大物産展」を開催	済	○
294	H27.12.4	有限会社べんのだや酒店	伊勢志摩サミット限定酒「G7/M(ジーセブンスラッシュエム)」の発売	済	○
295	H27.12.7	—	—	済	後日公表
296	H27.12.7	—	—	済	○
297	H27.12.7	株式会社サガミチェーン	県内店舗にてサミットポスター掲出	済	○
298	H27.12.7	—	—	済	○
299	H27.12.7	株式会社戸田屋	①サミット参加7か国の料理フェア②サミット決定記念プラン発売③サミットポスター掲出	済	○
300	H27.12.7	株式会社明和プラテック	本社、支店、営業所の各事業所へサミットポスター掲出	済	○
301	H27.12.7	株式会社京口屋	サミット開催記念として、サミットに関連する冷媒フロン破壊費用を優遇する取組を実施	済	○
302	H27.12.8	三重県生涯学習センター	「三重県生涯学習センター3階 情報コーナー みるシル」にポスター掲示	済	○
303	H27.12.8	有限会社観光旅館 福寿荘	年賀はがきや名刺にシンボルマーク掲載	済	○
304	H27.12.8	サントリー酒類株式会社	サミット応援キャンペーンを実施し、キャンペーン告知ツールにシンボルマークを掲載	済	○
305	H27.12.8	株式会社読売情報開発	「伊勢志摩サミット開催記念」オープン懸賞を実施	済	○
306	H27.12.8	株式会社ダスキン 東海・北陸地域本部	三重オリジナルデザインの商品を製造販売し、チラシにサミット応援メッセージ掲載	済	○
307	H27.12.8	昭和印刷株式会社	千羽鶴折り方型紙の製作販売、桑名駅前大型ビジョンで千羽鶴協賛広告企画・応援メッセージ掲載	済	○
308	H27.12.8	三重交通株式会社	名刺に応援メッセージとシンボルマーク掲載	済	○
309	H27.12.9	—	—	済	後日公表
310	H27.12.9	—	—	済	○
311	H27.12.9	—	—	済	○
312	H27.12.9	—	—	済	○

番号	受付日	提案者名	提案内容	登録	公表
313	H27.12.9	—	—		○
314	H27.12.9	—	—		○
315	H27.12.10	—	—		○
316	H27.12.10	—	—		○
317	H27.12.10	—	—		○
318	H27.12.10	—	—		○
319	H27.12.10	—	—		○
320	H27.12.10	—	—		後日公表
321	H27.12.10	—	—		○
322	H27.12.10	—	—		○
323	H27.12.11	—	—		○
324	H27.12.11	—	—		○
325	H27.12.14	—	—		○
326	H27.12.14	—	—		○
327	H27.12.14	—	—		○
328	H27.12.14	—	—		○
329	H27.12.14	—	—		○
330	H27.12.14	—	—		○
331	H27.12.14	—	—		○
332	H27.12.14	—	—		○
333	H27.12.14	—	—		○
334	H27.12.14	—	—		○
335	H27.12.15	—	—		○
336	H27.12.15	—	—		○
337	H27.12.15	—	—		○
338	H27.12.15	—	—		○
339	H27.12.15	—	—		○
340	H27.12.15	—	—		○
341	H27.12.15	—	—		○
342	H27.12.15	—	—		○
343	H27.12.16	—	—		○
344	H27.12.16	—	—		○
345					
346					
347					
348					
349					
350					

平成 27 年 12 月 18 日  
伊勢志摩サミット三重県民会議事務局  
総務課

## クラウドファンディングの活用開始について

### 1 目的

個人からの寄附金募集にあたり、より広く広報し、多くの方からご支援をいただくため、クラウドファンディングの活用を開始する。

### 2 募集概要

#### (1) 募集対象

個人

#### (2) 募集期間

平成 27 年 12 月 16 日(水)18 時から平成 28 年 2 月 29 日(月)23 時まで

#### (3) 募集方法

募集と収納を下記事業者に委託

一般財団法人 ジャパンギビング 代表取締役 佐藤 大吾

#### (4) 寄附方法

①一般財団法人 ジャパンギビングのホームページへアクセス

②県民会議プロジェクトページからページ内の手続きに沿って寄附申込み

③クレジットカード、銀行振込、ネットバンキングにより支払い

※一口 500 円以上

#### (5) 税制優遇

ふるさと納税と同様に税制優遇の対象

### 3 寄附者へのお礼

2,000 円以上の寄附者へ、非売品である伊勢志摩サミットノベルティ 3 点セット

### 4 広報活動

#### (1) メディア

知事ぶら下がり会見、都道府県記者クラブ、三重テラスと関係のあるメディア 200 社

#### (2) 拡散依頼

三重の応援団、観光大使、三重県政策アドバイザーなど

#### (3) 三重県関連 Facebook アカウントとの連携

東京事務所、関西事務所、三重テラス

#### (4) 県民会議 SNS、HP

Facebook、ツイッターなど



## 「ポストサミット」関連事業について（案）

平成 27 年 12 月 18 日  
戦略企画部企画課

## 1 「ポストサミット」について

三重県における「ポストサミット」とは、伊勢志摩サミットの「レガシー」を、三重の未来に生かすことです。サミット開催は千載一遇のチャンスであり、これを一過性にせず、サミットの資産を次世代に継承していかなければなりません。

## &lt;「レガシー」とは&gt;

○一般に「レガシー」は遺産や受け継いだものを意味しますが、ここでは、サミットの開催により地域にもたらされる有形無形の好影響を指しており、現時点で想定される伊勢志摩サミットの「レガシー」を次の3つに整理しています。

①知名度等の向上

- ・ 三重及び伊勢志摩の知名度の向上や評価・関心の高まり
- ・ 県民と海外・世界との距離が縮まること 等

②会議自体の成果

- ・ 宣言、方針、共同声明等や、それらに基づく計画、取組等

③地域の総合力の向上

- ・ 県民や地域の一体感の醸成
- ・ 郷土に対する愛着や誇りの高まり
- ・ 地域に対する理解の深化、地域のネットワークの強化
- ・ おもてなしの力の向上
- ・ アクティブ・シチズンの増加
- ・ 県民力により、世界最高峰の会議を安全・安心に開催するために取り組んだ経験 等

## 2 「ポストサミット」の基本的な考え方

サミットは、三重の知名度等を高めるチャンスであるばかりでなく、県民の皆さんが郷土に対する愛着や誇りを高めたり、自分が暮らす地域に対する理解を深めたりすることにより、アクティブ・シチズンとして一層活躍する契機ともなります。

サミット開催に向けた「オール三重」による取組は、県民の皆さんがサミットの成果を地域の発展のために生かそうとする行動や、地域をより良くしようとする行動へとつながります。そのことにより、地域の活力・魅力が高まって、観光やビジネスなどのさまざまな分野で三重が世界から選ばれるようになり、それが次世代の希望につながっていくという「正のスパイラル」が生まれ、地域の持続的かつ自立的な活性化が図られます。

そのように、サミットのレガシーを最大限に生かし、三重の未来を「地方創生のモデル」として持続的に発展させていくことが、「ポストサミット」の基本的な考え方です。

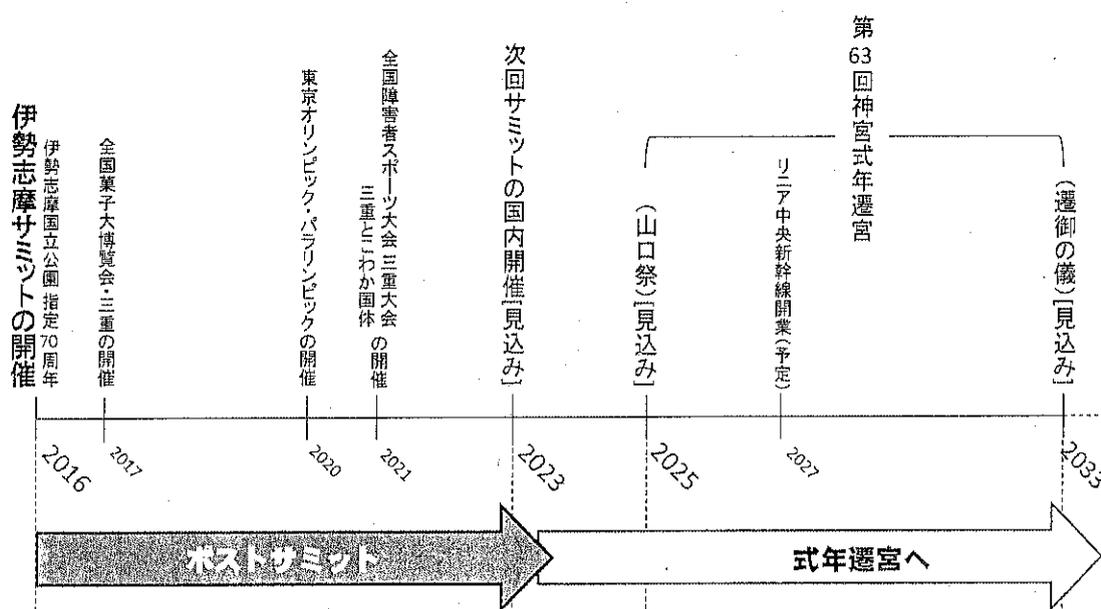
### 3 具体的な取組について

○「ポストサミット」の取組の基本的性質は、以下のとおりと考えます。

- ・サミットが開催されるからこそ生まれる（発展する）取組
- ・アクティブ・シチズンとしての県民の行動を促す取組
- ・サミット開催後、一定期間にわたって効果が持続する取組

○「伊勢志摩サミットの開催後、我が国での次のG7サミット開催地が決定するまで」を、本県の「ポストサミット」の期間と捉え、長く効果が持続すると期待される取組を展開します。そして、同じく国内外からの注目を集める「第63回神宮式年遷宮」に向けて、スムーズにバトンを渡していきます。

#### ＜「ポストサミット」の時間軸イメージ＞



○以上の考え方にに基づき、次の3つの観点から事業を構築しました。

#### ①人と事業を呼び込む

（知名度の向上を最大限に生かし、国内外の人々と事業を呼び込む取組）

#### ②成果を発展させる

（サミットそのものの成果を引き継ぎ発展させる取組）

#### ③次世代に継承する

（サミットを通じて高まった地域の総合力を、次世代の育成や地域の魅力向上につなげる取組）

※なお、今回の事業はポストサミット関連事業の一部であり、サミットの

テーマ決定や開催結果を踏まえて、引き続きポストサミットの取組を検討していきます。

## ポストサミット関連事業

### ① 人と事業を呼び込む (265,522千円)

MICE (50,899千円)	○世界の次世代を呼び込む国際会議開催事業 (30,000千円) ○海外MICE誘致促進事業 (20,899千円)
インバウンド (127,023千円)	○海外誘客推進プロジェクト事業 (103,572千円) ○地域活性化(観光活性化)ファンド組成事業 (20,000千円) ○三重県版バリアフリー観光促進事業 (3,451千円)
食の産業振興 (73,613千円)	○みえの農林水産物の魅力総合発信事業 (26,000千円) ○「みえの食」グローバル市場獲得推進事業 (47,613千円)
国際戦略 (13,987千円)	○グローバル創業支援事業 (8,494千円) ○外資系企業ワンストップサービス推進事業 (5,493千円)

### ② 成果を発展させる (27,491千円)

安全・安心 (1,153千円)	○安全安心まちづくり事業費(犯罪から県民を守るアクションプログラム(仮称)策定)
サミットの聖地 (14,847千円)	○みえの農林水産「八百万サミット」開催事業 (12,847千円) ○世界に開かれた魅力ある三重づくり促進プログラム事業 (2,000千円)
環境 (11,491千円)	○みえの環境技術移転国際会議開催事業 (11,491千円)

### ③ 次世代に継承する (2,538千円)

次世代育成 (2,538千円)	○三重県高校生サミット開催事業 (2,538千円)
--------------------	---------------------------



平成27年12月18日

開催支援課

## 伊勢志摩サミット宿泊予約センターについて

## 1 目的

サミット開催時に集中的に来県する関係者の宿泊先を、安定的かつ効率的に確保・提供するとともに、宿泊者及び宿泊施設に対する適切なサポートや三重県の観光振興につながる取組を行う。

## 2 取組内容

## (1) センターの役割

伊勢志摩サミット三重県民会議が公認する宿泊予約センターとして、サミット開催時に集中的に来県する関係者に対し、宿泊先となるホテル等を安定的かつ効率的に確保し、宿泊希望者への円滑かつ適切な申込み、配宿、精算、情報提供などのサービスを一元的に提供するとともに、宿泊施設に対するサミット関係者受け入れにあたってのサポートや三重県の観光振興に係る取組などを行う。

## (2) 宿泊予約取扱対象者

各国代表団、報道関係者、日本政府関係者、警備関係者、消防関係者、医療関係者等

## (3) センター概要

- ①開設日 平成27年8月24日(月)
- ②運営事業者 伊勢志摩サミットに係る宿泊手配等業務コンソーシアム  
※株式会社JTB中部(代表)、近畿日本ツーリスト株式会社、株式会社日本旅行の3社による共同事業体
- ③住所 三重県津市羽所町375 百五・明治安田ビル5階
- ④電話番号 059-228-8450
- ⑤営業時間 平日9時30分から17時30分まで(土日祝は休業)

## (4) 宿泊施設確保状況

3月24日から5月29日までを5つの期間に分けて、それぞれの期間に必要なと想定される客室を確保できるよう、伊勢志摩地域の全宿泊施設、及び津・亀山・鈴鹿以南のビジネスホテル(洋室)を主な対象に取り組んできました。

現時点で、最大2万5千人の宿泊を想定するサミット開催前後(5月24日から29日)の期間以外に必要な客室数を確保できていますが、開催前後の期間については、より一層の客室確保が必要な状況であり、現在、対象地域を拡げつつ、首脳会議場・国際メディアセンター周辺の施設及び洋室のある施設を中心に必要な客室の確保に努めています。

7月には、宿泊対象と想定されうる施設に対し、当面の間、ゴールデンウィーク明けからサミット開催までの期間の宿泊予約を受付ないよう協力を依頼しましたが、この依頼は10月16日に解除しました。また宿泊予約センターによる配宿への協力申し出があった客室についても、使用見込みのない期間・地域の客室については、11月10日以降、順次、各施設への返還作業を始めて

います。

なおゴールデンウィーク期間中までは、宿泊予約センターがサミット関係者用に確保している客室もそれほど多くなく、センターの確保分以外は各宿泊施設が通常通りの営業を行っていますので、一般観光客の利用について特別な制限は有りません。

### 3 事業実施スケジュール（予定）

- ・ 8月31日～9月7日 宿泊施設向け説明会の開催  
(伊勢市、志摩市、鳥羽市、津市で計10回)
- ・ 9月～ 必要な客室数の確保
- ・ 10月～ センター新事務所開設、宿泊希望者からの問合せ対応・調整
- ・ 11月～ 確保済み客室の内、使用見込みのない客室の返還（随時）
- ・ 12月～ 宿泊予約センターホームページの立ち上げ
- ・ 1月～ ホームページでの宿泊予約受付開始  
宿泊施設に対する配宿計画案の提示
- ・ 2～4月 宿泊施設向け外国人おもてなしセミナーの開催

平成 27 年 12 月 18 日  
開催支援課

## 配偶者プログラムについて

### 1 目的

国に対し配偶者プログラムの訪問先や体験内容等についての提案を行うことで、美しい自然や豊かな文化・伝統などの三重の魅力をプログラムに盛り込み、三重の魅力を世界に向けて発信していく。

### 2 取組方針

- (1) 国が行う配偶者プログラムに、三重県としての提案を盛り込んでもらう。
- (2) 首脳会議が 1 泊 2 日で予定されており、配偶者プログラムもその期間内での実施となる（想定：5 月 26 日午後、27 日午前）。ただし、日程を勘案するとそれぞれ半日程度の行程となり、賢島から遠距離への訪問はできない。

### 3 取組状況

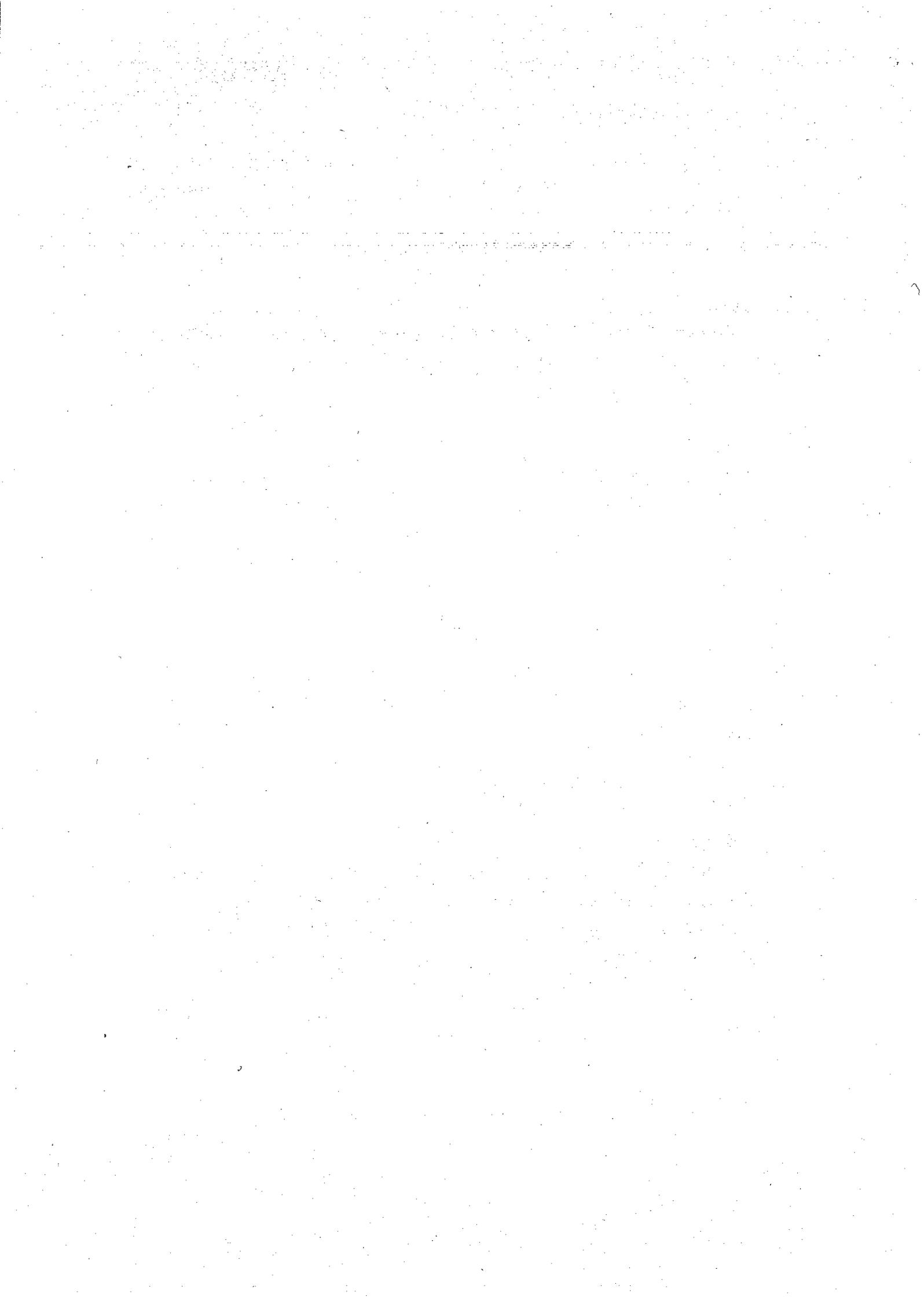
テーマ性やストーリー性を持たせた訪問先やコンテンツを総合的に検討のうえ、県としての案を決定し、10 月 9 日（金）に、知事から外務省に対し、提案を行った。

- ・テーマ：「伊勢志摩にみる日本の伝統・文化」
- ・キーワード：「多様性」「持続性」「独創性」「女性」「食」

### 4 今後の進め方

三重県提案の採用を検討段階の外務省に改めて働きかける。検討に際し、具体化が必要な内容に関しては調整のうえ、情報提供を行っていく。

国が配偶者プログラムの訪問先等を決定した後は、県民会議の担当となる行程について、県民会議としてコンテンツを具体的に検討し実施する。



平成 27 年 12 月 18 日

事業推進課

## ジュニアサミットについて

## 1 目的

ジュニアサミット参加者が三重県の魅力に触れるとともに、三重県の子供も達に交流機会を提供します。

## 2 これまでの経緯

8 月 5 日 鈴木知事から中山泰秀外務副大臣に本県開催を強く要望

9 月 17 日 伊勢志摩サミット推進局長から外務省大臣官房人物交流室長に、開催日程（案）や討議テーマ及び討議に資する視察先を提案

10 月 27 日 外務省飯倉公館で開催された「伊勢志摩サミット開催レセプション」にて、岸田文雄外務大臣がジュニアサミットの三重県開催を発表

【開催時期】 平成 28 年 4 月 22 日から

【開催場所】 三重県桑名市を主会場とし、県内各地で視察、交流イベントを行う形で開催

11 月 17 日 ジュニア・サミットに参加する日本代表を募集（～12 月 7 日）

## 3 事業の概要

## (1) 開催内容について

平成 27 年 11 月 11 日、外務省からジュニアサミットの参加募集要領が示され、下記の内容で開催されることとなりました。

- ・名称：「2016 年ジュニア・サミット in 三重」
- ・開催期間（予定）：平成 28 年 4 月 22 日から 28 日まで  
(4 月 21 日会場入り、4 月 29 日東京出発)
- ・主催：日本国外務省、共催：伊勢志摩サミット三重県民会議
- ・会議（討議）テーマ（案）：「次世代につなぐ地球～環境と持続可能な社会」
- ・参加者：G7 各国の原則として 15 歳～18 歳の 4 名のチーム（男性 2 名、女性 2 名）及び付添人 1 名
- ・使用言語：英語
- ・プログラム（暫定）
  - 4 月 21 日（木）桑名市到着
  - 4 月 22 日（金）開会式、会議
  - 4 月 23 日（土）会議、視察
  - 4 月 24 日（日）交流行事
  - 4 月 25 日（月）会議
  - 4 月 26 日（火）会議、閉会式、東京に移動
  - 4 月 27 日（水）政府首脳に成果文書提出（27 日又は 28 日）、都内視察
  - 4 月 28 日（木）同上
  - 4 月 29 日（金）東京出発

## (2) 日本代表チームの選考について

日本代表チームについて、三重県内から4名（男性2名、女性2名）及び付添人1名を平成28年2月29日までに選考するよう外務省から通知があり、三重県教育委員会及び環境生活部私学課に選考を依頼し、次のとおり募集を行いました。

### 【応募資格】

- (1) 日本国籍を有していること。
- (2) 原則として平成28年4月22日現在で15歳～18歳であること。
- (3) 三重県内に在住している者、または三重県内に通勤・通学等をしている者
- (4) 国際交流や国際問題について関心があること。
- (5) 心身ともに健康であること。
- (6) 次の検定試験のいずれかの基準に相当する英語力を有し、意思疎通能力が充分にあるもの
  - ア 英検 準1級以上
  - イ TOEFLiBT 72点以上
  - ウ IELTS 5.5以上
  - エ TOEIC 785点以上
- (7) 選考会、「2016年ジュニア・サミットin三重」の全日程及び事前研修（平成28年1月から平成28年4月までの期間で、のべ7回程度、土日祝日に実施を予定）に出席可能な者。
- (8) 参加について親権者の同意が得られること

### 【募集期間】

平成27年11月17日（火）～12月7日（月）17時まで

## 4 今後の取組方針

- (1) 日本代表について、平成27年12月19日、選考会を開催し、書類審査、面接審査及び口述審査を行い、すべての審査から総合的に判断して選考するとともに、開催に向けて事前研修を行います。
- (2) 三重県ならではの歓迎・交流行事や、県内高校生等との交流を含む県内各地分散型の体験・交流の具体的なプランについて、改めて国に提案を行います。（県内各市町に対し、国に提案するためのコンテンツを照会済）
- (3) 開催日程を通して、県内高校生等が参加者と交流できる機会を可能な限り設けられるよう、外務省と協議します。
- (4) 開催に向け、参加者の歓迎や受け入れ等について、主会場となる桑名市をはじめ、北勢地域の市町や県内の関係者と緊密な連携を図っていきます。

平成 27 年 12 月 18 日  
事業推進課

## シンボルマークの作成について

### 1 目的

国によるロゴマークの決定は平成 28 年 1 月以降と見込まれています。

国の決定に先んじて、県民会議や県民会議の活動に賛同する多くの県民ができるだけ早期に、かつ自由に使用できる県民会議としてのシンボルマークを独自に作成し、広報活動に活用することで開催機運の醸成を図ります。

また、選定の考え方自体を県民会議の活動方針の象徴とし、県内外に強いメッセージを伝えていきます。

### 2 作成方法

#### (1) 作成方針

シンボルマーク作成のプロセス自体に県民会議からのメッセージを含め、県内外に発信しました。

#### ① 近藤敦也氏に作成を依頼（平成 27 年 8 月 21 日）

近藤氏は北勢きらら学園在校時の作品が平成 20 年の北海道洞爺湖サミットのロゴマーク公募で最優秀作として採用され、その後、筋ジストロフィーという難病を抱えながらも、夢であったグラフィックデザインの仕事に従事され、現在に至るまで継続的にデザインに関わっておられます。

同氏にシンボルマークを作成いただくことで、北海道洞爺湖サミットの経験を伊勢志摩サミットの成功と三重県の明日へつないでいく、また、多様な主体に参画いただくことを、県民会議からの強いメッセージとして発信します。

#### ② シンボルマークの県民投票（平成 27 年 9 月 25 日～10 月 1 日）

県民会議の基本的な考え方である「さまざまな県民が準備段階から事業の企画に携わり、実施して、サミットに参画する」ということを実現するため、近藤氏に作成いただくシンボルマーク数案を、県民投票へかける機会を設けました。

※ 投票総数 3, 577 票

#### ③ シンボルマークの県民会議会長、副会長、理事による投票

（平成 27 年 10 月 2 日～10 月 5 日）

県民投票の結果、上位 2 案に対して県民会議会長、副会長、理事による最終投票を実施しました。

#### ④ シンボルマークの決定（平成 27 年 10 月 13 日）

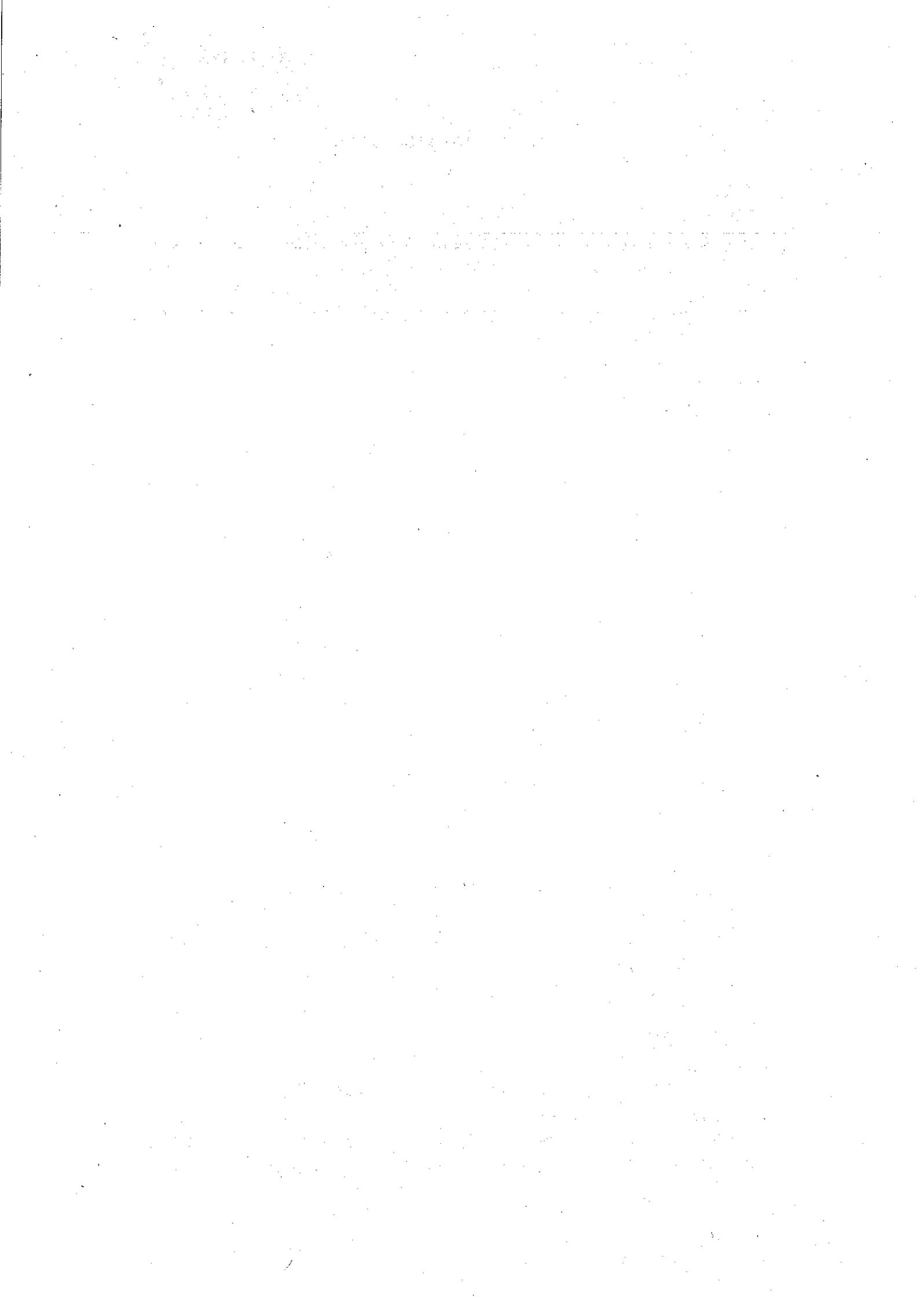
### 3 作成後の展開

#### (1) 県民会議としての展開

バッジ、名刺、広報用資料、ポスター、封筒、懸垂幕等幅広く展開します。

#### (2) 協賛事業としての展開

県内外の企業・団体・個人による応援事業や企業・団体からの協賛の枠組みを活用してシンボルマークを活用頂くことで、広く展開します。

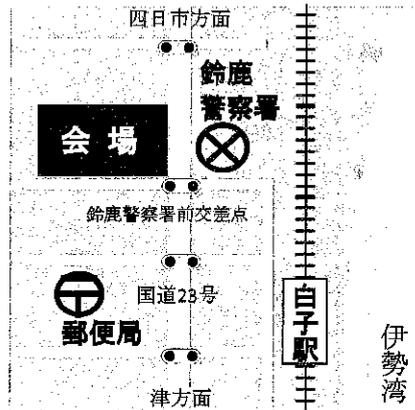




# 第2回 伊勢志摩サミットフォーラム

伊勢志摩サミット  
三重県民会議

おもてなしや食を中心とした情報発信など、サミット開催に向けた県民総参加の取り組みと、サミットのレガシー（遺産）として後世に残すべきことについて、一緒に考えましょう。



[日時] 平成28年1月16日(土)13:00開演/12:00開場

[場所] 鈴鹿医療科学大学 白子キャンパス 講堂

(鈴鹿市南玉垣町3500-3)

近鉄白子駅からバス5分

※白子駅からシャトルバスが運行します。

[内容] 13:00~13:10 挨拶(会長・鈴鹿市長)

13:10~13:50 講演

14:00~15:45 トークセッション

定員600名  
事前申込制  
入場無料

## <講演> 「伊勢志摩サミットのレガシーを生み出す “おもてなし” 戦略とは」

なかむら よしあき

講師 中村好明 氏

ドン・キホーテグループ  
株式会社JIS 代表取締役社長



株式会社ドン・キホーテに入社後、広報・IR・マーケティングの責任者、各種社内新規事業のプロジェクトリーダーを経て、2008年インバウンドプロジェクトの責任者に就任。2013年に株式会社JISを設立、社長に就任。国、自治体、民間企業のインバウンド分野における総合コンサルティング事業等に従事。

## <トークセッション> 「おもてなし、食を中心とした情報発信、 サミットのレガシー（遺産）について」

○スピーカー



やまだ ふみひこ

山田文比古 氏

東京外国語大学教授。元フランス大使館公使。2000年九州・沖縄サミットでは、沖縄県サミット推進事務局長としてサミットを成功に導いた。



しみずしんいちろう

清水慎一郎 氏

清水清三郎商店代表取締役。国内外のコンテストで受賞多数。鈴鹿の工芸品とのコラボ商品を通じ、幅広く鈴鹿をアピール。三重県酒造組合副会長。



ラース・

ニコライゼン 氏

ドイツ通信社東京支局長。1997年から現職。巧みな日本語を使い、全国で取材を実施。2008年北海道洞爺湖サミットを取材。

なかむらよしあき

中村好明 氏

講演に引き続き、トークセッションにも出演します。

未定

(外務省)

第1回フォーラムに続いて、外務省から出演します。

○コーディネーター 鈴木英敬伊勢志摩サミット三重県民会議会長（三重県知事）

※中止又は延期の場合は、ホームページで発表します。詳しくは、こちらで検索！

伊勢志摩サミット・三重県

### 応募方法

① ホームページ内の応募専用フォームによる申し込み

② 必要事項を記入の上、ファックスによる申し込み

※詳しくは、裏面をご覧ください。 応募締切 12月16日(水)

## 第2回伊勢志摩サミットフォーラム 参加申込用紙

参加をご希望される方は、次のいずれかの方法によりお申し込みください。

申込受付期間 平成27年11月12日(木)～12月16日(水)

①ホームページから申し込む・・・次のURLから申し込んでください。

パソコン <http://www.shinsei.pref.mie.lg.jp/uketsuke2/dform.do?acs=sf2>

携帯電話 <http://www.shinsei.pref.mie.lg.jp/uketsuke2/iform.do?acs=sf2>

スマートフォン <http://www.shinsei.pref.mie.lg.jp/uketsuke2/sform.do?acs=sf2>

②ファックスから申し込む・・・下記をご記入の上、ファックスしてください。

ファックス番号 059-253-5498

※駐車場に限りがございますので、可能な限り公共交通機関をご利用ください。

申込お一人につき、申込用紙1枚に記入して、お申し込みください。

### ■申込者

住所*	〒		
ふりがな*	氏名	電話番号*	( ) -
メールアドレス		FAX番号	
団体・法人名		役職・部署名	

ご記入いただいた個人情報は、このイベントに関してのみ使用し、それ以外の目的で使用いたしません。  
※欄は必ずご記入ください。メールアドレス、FAX番号、団体・法人名、役職・部署名は、任意記入です。

### ■来場手段

来場手段	車 ・ その他	※他の方の車に同乗して来場される場合は、その他に○をしてください。
------	---------	-----------------------------------

### ■乳幼児保育サービス(託児)の申し込み

託児申し込み	有 ・ 無		
氏名(ふりがな)		月齢・年齢	
氏名(ふりがな)		月齢・年齢	

### ■手話通訳の申し込み

手話通訳申し込み	有 ・ 無
----------	-------

### ■車いす席の申し込み

車いす席申し込み	有 ・ 無
----------	-------

<申し込み・お問い合わせ先>

伊勢志摩サミット三重県民会議事務局

津市栄町2-380HOWAビル津4F

電話 059-253-5496

FAX 059-253-5498

平成27年12月18日  
開催支援課

## 県産食材等の利用促進に向けた取組について

### 1 目的

伊勢志摩サミット開催を契機とし、質の高い県産食材等のPRを行うことで、需要拡大及び販売促進につなげていく。

### 2 基本的な考え方

全県をあげて、質の高い県産食材等をリストアップし、サミットにおける国の公式プログラムやレセプション等のほか、プレスツアー等の行事の食事メニューにおいて採用されるよう、県産食材等の活用を国や関係ホテル等に対して積極的に提案していく。

### 3 取組状況

10月9日（金）に、知事から外務省に対し、積極的に県産食材等を活用されるよう以下のリストを提出し要望を行った。

- ・食 材：各市町から提出された推薦食材を集約してリストを作成。
- ・加工品：県内に主たる事業所がある事業者が製造又は加工した食品や、江戸時代以前から県内で製造・販売されている餅菓子について公募を行い、みえセレクション選定品を含め、審査会を経てリストを作成。
- ・日本酒：関係機関と調整のうえ、全国新酒鑑評会で受賞された日本酒をはじめ、三重県に存する蔵元が奨める日本酒をとりまとめリストを作成。

外務省への要望後は、ホテル・旅館への提案活動を実施している。

※志摩市、鳥羽市のホテルを中心に雇用経済部、農林水産部と協同し、上記のリストを持参しての提案活動を実施中。

同時に、12月1日（火）に、農林水産部が主催する「三重の食材を知る会 VOL. 1」（開催場所：伊勢安土桃山文化村）への参加も呼び掛け、活用の推進を促した

この他に、警備関係者等を対象とする弁当供給業務においても、供給事業者に対し、県産米の使用と県産食材の積極的活用を求めている。

### 4 今後の進め方

各国の宿泊ホテル決定後に、第2回の提案活動を予定しており、積極的な採用を提案していく。



平成27年12月18日

開催支援課

## 弁当供給体制の整備について

### 1 目的

伊勢志摩サミットの開催に際して、警備、消防、医療、現地スタッフ等に対し、県産食材を活用した安全・安心かつ美味しい食事を大量に継続して提供することを目的とする。

### 2 取組内容

#### (1) 業務内容

弁当の受注、製造、配送及び空容器の回収

#### (2) 取扱対象者

警備関係者、消防関係者、医療関係者、現地スタッフ等を想定

#### (3) 整備する供給体制

- ①屋外保管を前提とする大規模かつ継続的な弁当需要（以下、大規模需要）への対応
- ②屋内保管を前提とする比較的小規模かつ短期・不定期的な弁当需要（以下、小規模需要）への対応

### 3 大規模需要への対応について

#### (1) 弁当供給に係る想定

弁当の供給について、現時点での「発注数の推移」「配送先への弁当到着時間」「配送先」の想定は、別添のとおりであり、この想定を満たす体制を整備できるよう、企画提案コンペを実施し、業務実施事業者を選定する。

#### (2) 事業者選定に係る最重要方針

万全の食品衛生管理体制が確保できることを最重要方針とし、弁当の製造過程において、HACCP及び大量調理施設衛生管理マニュアルに基づく衛生管理を実施するとともに、提供する弁当について、屋外で保管されることを想定し、三重県が定める食品の衛生管理指標の目標値の達成及び異物混入対策として金属探知機での検査を求めることとする。

#### (3) 検査指導体制

万全の食品衛生管理体制を確保するため、県内の弁当製造施設については、月2回程度の監視指導を実施することとする。

#### (4) 県内事業者の参画

事業者選定にあたっては、仕様書に、県内弁当製造事業者を一社以上含めることを参加資格にするとともに、配送事業者等についても可能な限り県内事業者を多く参画させるよう規定し、その参画度合を選定の評価基準の一つとすることで、県内事業者の参画を確保する。

ただし、弁当製造施設数については、十分な検査指導体制を確保できることが前提となる。

#### 【地区割りについて】

弁当の配送場所を、比較的規模の大きな「志摩市」及び規模の小さな「津市・伊勢市・鳥羽市」の2地区に分けて、企画提案コンペを実施することにより、十分な検査指導体制を確保しつつ、県内事業者の活用をより促進する。

#### (5) 県産食材の活用

県産米を使用するとともに、その他の県産食材についても、可能な限り使用に努めるよう企画提案コンペの仕様書に規定する。

また、フードイノベーション課と連携して県民会議の方から食材及びメニューの提案を行うことで、企画提案の内容に止めることなく、県産食材の活用促進に努める。

#### (6) 企画提案コンペの審査基準

- ① 業務遂行能力に関する事項
- ② 衛生管理に関する事項
- ③ 食材及びメニューに関する事項
- ④ 環境への配慮に関する事項

#### (7) 弁当受注窓口設置までのスケジュール

平成27年10月30日	企画提案コンペ	公募開始
11月10日	企画提案コンペ	説明会開催 (参加者 約30名)
11月30日	企画提案コンペ	公募締切 (提案事業者数 2地区共通で5者)
12月10日	プレゼンテーション・ヒアリング審査	受託候補者決定(2者)

※現在、食品衛生状況を確認するとともに、業務内容を協議しています。

平成28年 1月	事業者名公表、協定書締結 弁当受注窓口設置
----------	--------------------------

#### 4 小規模需要への対応について

宿泊者の昼食需要への対応など食事の提供に課題のある宿泊施設や、国際メデイアセンター内の支援事業者、海上保安庁職員の一部など、屋内保管が可能で、比較的小規模かつ短期・不定期的な弁当需要に対しては、地元の小規模な弁当製造事業者による供給が行えるよう、各地域の商工団体等とも協力しながら、両者のマッチングを促進している。

## 伊勢志摩サミット弁当供給業務（大規模需要）に係る想定

## 1 発注数の推移

期間	1日1食の弁当見込数			備考
	朝	昼	夕	
3/24～4/21	300個	900個	300個	
4/22～5/9	2,200個	6,600個	2,200個	
5/10～5/18	3,300個	10,000個	3,300個	
5/19～5/28	5,000個	16,000個	5,000個	

## 2 配送先への弁当到着時間

朝	午前4時から午前5時
昼	午前9時から午前10時
夜	午後3時から午後4時

## 3 配送先

市名	箇所数	場所
志摩市	数か所	(未定)
伊勢市	1～数か所	(未定)
鳥羽市	1～数か所	(未定)
津市等	1～数か所	(未定)

## &lt;参考&gt;

企画提案コンペでは、「5月26日（木）の配送場所別配送弁当数」を下記のように条件として設定し、企画提案をしていただきました。

## 【A地区】

市名	配送場所	朝食	昼食	夜食
志摩市	志摩市役所本庁舎	1,000個	4,000個	1,000個
	志摩市役所磯部支所	1,000個	3,000個	1,000個
	志摩市役所浜島支所	1,000個	3,000個	1,000個
	志摩市役所大王支所	1,000個	3,000個	1,000個
合計		4,000個	13,000個	4,000個

## 【B地区】

配送地区	配送場所	朝食	昼食	夜食
伊勢市	伊勢市役所	400個	1,000個	400個
鳥羽市	鳥羽市役所	300個	1,000個	300個
津市等	津市役所	300個	1,000個	300個
合計		1,000個	3,000個	1,000個

注意：あくまでも企画提案をするための仮定の配送場所・配送弁当数です。



平成 27 年 12 月 18 日  
事業推進課

## クリーンアップ活動について

### 1 目的

サミット開催にあたっては、各国関係者はもとより、多くの報道関係者等が県内に訪れると予想される。

これらの来訪者に、より快適な滞在環境を提供し、県民の歓迎の意を表現するとともに、一人でも多くの県民が来訪者歓迎に関わることにより、機運醸成や参加意識の向上をめざす。

### 2 事業概要

県民会議や県、市町及び各団体・企業等の多様な取組を活かしながら、県民が一体となって、開催地周辺のみならず全県的に、協賛・応援事業の枠組も活用して、クリーンアップ活動（清掃活動）を展開する。

### 3 取組方針

- (1) 市町や自治会、関係団体・企業の実施しているクリーンアップ活動等を活かし、全県的な取組として展開する。
- (2) 県民参加の機運醸成のため、キックオフイベント等を実施することで一体感と発信力を高めていく

### 4 今後の進め方

#### (1) 既存の活動の活用

一人でも多くの県民の方々に参加していただけるよう、市町や関係団体等と協力しながら既存の活動を活用し、全県的な県民運動として展開する。

#### (2) 協賛、応援事業の活用

協賛、応援事業の枠組みを活用し、企業、団体が自ら行うクリーンアップ活動や物品等の提供により、企業・団体の協力を活用していく。

#### (3) キックオフイベントの開催

県民一人一人がおもてなしの心を持ってクリーンアップ活動を県全体で取り組んでゆくことをPRするとともに、サミットに向けた機運の醸成や一体感の構築を図るため、サミット開催 100 日前イベントとして「伊勢志摩サミットクリーンアップおもてなし大作戦（仮）」のキックオフイベントを開催する。

##### ①開催日

100 日前ウィーク（平成 28 年 2 月 16 日（火））前後を予定

##### ②開催場所

メインイベント・清掃活動を開催予定（開催市町については調整中）。

他市町においても自主的なイベント・清掃活動を開催することにより、県内全域にクリーンアップムーブメントを創出させるきっかけとする。

③参加者

県民、学生、市町、自治会、各種活動団体（NPO、ボランティア、サークル等）、企業等

（４）県内一斉美化活動期間

平成 28 年 5 月を中心に「県内一斉美化活動期間」とし、各市町、団体等で実施している既存の清掃活動の前倒し等を要請し全県的に実施する。

（５）花いっぱいおもてなし運動との一体的な実施

環境美化活動の一環として実施する「伊勢志摩サミット花いっぱいおもてなし大作戦（仮称）」と一体的に実施することで、サミットに係る機運の醸成や参加意識の向上をめざす。

## 花いっぱいおもてなし運動について

### 1 目的

伊勢志摩サミットの開催にあたり、三重県を訪れる方々を、おもてなしの心と美しい花々で歓迎するとともに、一人でも多くの県民が花を育てる活動に参加することでサミットに向けた機運を醸成するため「花いっぱいおもてなし運動」の取組を実施する。また、この機会を利用して、三重県産の花き花木をPRし、魅力を発信する。

### 2 事業概要

広報全体計画に基づき、サミット開催に向けての具体的なアクションの時期である「50日前ウィーク」（4月6日を中心）から、サミット本番前に、県内一斉に花の飾り付けなど行うキックオフイベントを開催し、歓迎機運や参加意識の向上をはかる。

4月からのアクションに向けて、県、市町、団体、企業、個人等のそれぞれの特性やこれまでの取組を生かし、地域に根ざした活動を全県的に展開する。

### 3 取組方針

- (1) 一人でも多くの県民の方々に参加していただけるよう、市町や関係団体等と協力しながら既存の活動を集約するとともに、クリーンアップ活動とも連動して全県的な県民運動として展開する。
- (2) 展開にあたっては、県内の関係団体や企業等の協賛、応援なども得て苗や資材等を準備するなど、各段階において多様な主体が支える運動とする。
- (3) 「県民のアクションの時期」と位置づけた50日前ウィークには、サミット本番前にキックオフイベントを開催し、サミットの成功と歓迎機運を盛り上げるとともに、参加意識を高める。

### 4 今後の進め方

#### (1) 各主体の活動の集約

各種活動団体（NPO、ボランティア、サークル等）、個人、学校、市町、自治会、生産者、企業等多様な主体が、播種・育苗・定植・栽培管理・開花・飾花までの各段階の活動を、それぞれの特性に応じて担い、「伊勢志摩サミット花いっぱいおもてなし大作戦（仮称）」として集約することで、4月から5月下旬までの開花・飾花をめざして活動する。

①播種・育苗：種を蒔いて花苗まで育成。

②定植：場所を選定し、定植作業。

※道路（街路樹柵）、公園、駅前ロータリー、県・市町庁舎等の公共施設、駅構内、宿泊施設、遊園地・テーマパークなどを想定

※場所の選定にあたっては、清掃活動を行った場所に定植するなどクリーンアップ活動とも連動させていく。

③栽培管理・開花：水やり管理、雑草除去等。

④飾花：移植等による飾花。

#### (2) 各主体の参加形態の例

①県民会議は、「伊勢志摩サミット花いっぱいおもてなし大作戦（仮称）」として各主体の参加を呼びかけ、協賛、応援事業等を活用して各主体の活動をバックアップするとともに、予算の範囲内で花苗、資材等を準備する。

②市町は、庁舎や関係施設の飾花で参加するとともに、既存事業も活用して管内の各主体の活動をバックアップする。

③各主体は、上記4（1）①～④の各段階に応じて参加を表明し、自主的に活動に参加。

④育苗から飾花まで、一貫した技術やノウハウ、施設・設備等を有する専門家等は、施設や技術、ノウハウ等を他の参加者に提供することで花いっぱい運動のネットワーク化を図る。

⑤企業、団体等は、協賛事業として関係施設での飾花で活動に参加するとともに、物品、技術等を協賛することでも活動に参加。

（例）サミット開催の影響で注目される場所、人が集まりやすい場所での飾り付け（宿泊施設、商業施設、電車駅構内、高速道路SA・PA、フェリー乗場等）や、種、苗、用土、資材、栽培施設の貸与、栽培管理、技術・ノウハウ等の提供等

### （3）スケジュール

#### ①参加募集（12月上旬～12月下旬）

県民会議は、広く「伊勢志摩サミット花いっぱいおもてなし大作戦（仮称）」への参加を呼び掛けるとともに、企業・団体等に花苗・資材等の協賛を募集する。

#### ②植花場所の集約（12月上旬～1月中旬）

県民会議は、参加状況と協賛物品（花苗・資材等）を集約し、各参加者の栽培予定面積や活動状況に応じて配分計画を作成する。

#### ③クリーンアップ活動との連動（2月中旬）

各団体は、100日前ウィーク（2月16日前後）に予定されているクリーンアップ活動キックオフイベント及び5月15日前後に予定されている「県内一斉美化活動期間」の時期に、植花予定地周辺の清掃作業等を実施して、植花に備える。

#### ④飾花活動の実施（4月～）

広報全体計画の「県民のアクションの時期」である4月からサミット開催の5月下旬までの間に、キックオフイベントを開催し、歓迎機運や参加意識の向上を図るとともに、今まで育てた花苗をアレンジし、三重県内を美しく飾る飾花活動を行う。

また、「アフターサミットフラワー」としてサミット開催時等に夏咲花を播種、育成するなどのプログラムも準備し、アフターサミットにつなげていく。

平成 27 年 12 月 18 日

事業推進課

## ホームページ・SNSのリニューアル及び運営について

## 1 目的

現存ホームページ（以下、HP）をリニューアルすることにより、県民会議の取り組む事業、住民に影響を与える事象に関する情報、国内外から来県される方のための情報（宿泊予約案内、アクセス 等）をタイムリーにわかりやすく発信します。

また、既に運用している SNS（Facebook ページ及び Twitter）についても、HP の運営・管理と併せて運用を事業者へ委託することで、より効果的な情報発信や炎上対策等のセキュリティ強化を図ります。

## 2 事業の概要

HP や SNS を活用することで、県民会議の取組や三重の魅力を幅広く発信していきます。

なお、HP のリニューアル及び HP ・ SNS の維持管理運営については、バナー広告等で賄うことを前提に、受託事業者は業務に係る経費をすべて負担することを条件に、当該 HP における広告収入を経費に充当できる仕組みとしていきます。

## 3 取組方針

## (1) HP

「国内在住の方」及び「海外からサミット取材に訪れるプレス」を対象に発信していくため、当該 HP は日・英の 2 カ国語対応を基本とします。

- ・ 国内向けには、県民会議の取組、協賛・連携・寄附事業の周知と依頼、各種規制情報、宿泊予約案内、三重県概要等を発信
- ・ 海外プレス向けには、三重県での滞在に関する情報（病院・警察、両替可能場所、宿泊予約案内等）、県民会議の一部の取組等を発信

※コンテンツにあわせ、一部は多言語化を予定

## (2) SNS

県内でサミットに関心のある方、サミットを契機に地元を盛り上げる意欲のある方や、県外でサミットに関心のある方、三重にゆかりや関心のある方をファンとして取り込むような発信をします。

## 4 今後の進め方

伊勢志摩サミット開催 100 日前を目途（2 月中旬）にリニューアルする予定です。



平成27年12月18日  
事業推進課

## 伊勢志摩サミット三重県民会議公式ポスターの展開について

## 1 目的

三重県で開催される主要国首脳会議の成功に向け、多くの方に伊勢志摩サミットをPRするための第1弾ポスター、県民会議のシンボルマーク決定を告知する第2弾ポスターを制作したが、今後第3弾から第5弾までのポスターを作成することで、サミット開催への期待感と「おもてなし」「明日へつなぐ」「三重の発信」への県民の意識の醸成を図ることを目的とする。

## 2 ポスターシリーズの基本構成

開催機運と県民意識の醸成を表現するため、「起・承・転・結」の構成とする。

第1弾 「起」：サミットが伊勢志摩で開催されることをPRし、期待感を醸成

第2弾 「承」：県民会議の象徴となるシンボルマーク決定告知

★第3・4弾 「転」：ポスターの公募

第5弾 「結」：「明日へつなぐ」をテーマに、県民のこれまでの活動を振り返りサミット終了が新たなスタートと訴求

## 3 第3弾ポスターの公募

- ・第3弾ポスターは、より高品質なポスターとするため公募形式とする。
- ・ポスターのテーマを「サミット開催に向けてのおもてなしの心」とする。「おもてなし」や「歓迎」といった伝わりにくいテーマを人々に訴えかけるポスターとして表現することで、県民の意識啓発を目指す。
- ・印刷や発送費用について、ポスターへの社名広告を前提とした協賛事業者を12月17日（木）まで募集中。
- ・なお、第4弾のポスターデザインについても公募し、12月18日（金）の第3弾ポスターの発表に合わせ募集要項を発表予定

①期 間 平成27年10月14日（水）から11月13日（金）（募集終了）

②応募件数 22件

③選考委員 5名

（座長） 水谷孝次 氏 水谷事務所/MERRY PROJECT 代表・アートディレクター  
田端英明 氏 公益社団法人 三重県観光連盟専務理事  
江崎貴久 氏 海島遊民くらぶ代表  
三田絢子 氏 有限会社伊勢福・広報担当  
森本佳菜 氏 三重大学大学院工学研究科建築学専攻博士  
前期課程在学中

④選考基準

デザイン性、テーマの表現性、誘客性を選考基準とする

4 第3弾ポスタースケジュール

10月13日(火)	県民会議総会にて発表
14日(水)	募集開始
11月13日(金)	募集終了
11月19日(木)	第一次審査(～24日までに各委員が推薦作品を報告)
11月26日(木)	第二次審査(4作品を選定)
11月27日(金)	著作権等の確認
12月14日(月)	第三次審査(選考委員による最優秀賞の決定、会長の承認)
12月18日(金)	最優秀賞者表彰及び知事記者発表 (第三次審査にて採用とならなかった作品についても 優秀作品として表彰)
1月上旬	第3弾ポスターの配布(開催150日前ウイークを想定)

5 ポスターの活用・展開事項

県民会議関係者：市町、県、県地域機関、希望者(企業・団体・個人)  
郵便局、金融機関、商業施設、公共交通機関関係、各種イベントブース等での  
掲示を想定

平成27年12月18日

事業推進課

## カウントダウンボード、ノベルティを活用したPR展開

### 1 目的

伊勢志摩サミットに向けて、応援事業も活用しながら県内外の各地にカウントダウンボードを設置することで、歓迎機運の盛り上げを図る。また、伊勢志摩サミットの開催を幅広く周知するため、シンボルマークを活用した各種PRツールを作成し、節目イベントや様々な会議等において、積極的に活用する。

### 2 取組内容

#### (1) カウントダウンボードの設置

200日前ウィークにて総計361台設置したカウントダウンボードについて、さらに県外設置を進め、東海地区、首都圏を中心とした全国発信へつなげます。新たに50台を各地に設置し、200日前ウィーク以降に応援事業で設置していただいた106台に加えて、総計517台となる予定。

##### ① 県民会議による設置【計5台】

- ・外務省（1台）※三重県森林組合連合会による協賛
- ・鉄道駅構内（近鉄：3台（難波駅、京都駅、名古屋駅））
- ・伊勢市役所（1台）※伊勢市から県立伊勢工業高等学校に製作を依頼

##### ② 企業等による応援事業として新たに設置【計45台】

三重交通グループ40台（各バスターミナル出札所等）、中日本高速道路㈱4台（東名阪自動車道御在所SA上下線・伊勢湾岸自動車道長島PA上下線）、㈱津松菱1台を設置いただく予定です。

##### ③ 開催200日前以降、企業等の応援事業として既に設置【計106台】

㈱第三銀行41台、JAグループ三重61台、三重テレビ放送㈱2台、紀北町観光協会1台、㈱サン・シャイン1台

#### (2) 各種PRツールの作成

ポストカードサイズチラシ、手提袋、クリアファイル、ウェットティッシュ、風船、ICカードステッカー等の汎用品ツールを作成しました。今後は子どもなどターゲットを明確にしたノベルティも作成して様々な場面に応じて配布できる各種PRツールを作成する。

### 3 今後の展開

#### (1) カウントダウンボードの展開

広報全体計画に基づき、県外への展開については、全国的な話題性の向上と興味喚起のため開催150日ウィークに併せて設置に取り組む。

開催150日ウィーク以降は、企業等の皆さまの応援事業としてご協力いただき、設置を進めていきたい。

(2) 各種PRツールの展開

節目ウィークイベントや関係関係会合、三重テラス等において、各種PRツールを用いて幅広く周知を行います。また、集客力及びPR効果の高いイベントには、県民会議の出展等を通じて情報発信を行う。

## プレス等を活用した情報発信の展開について

### 1 目的

国内外のメディアに三重県を取材する機会を提供し、三重県ならではの体験や三重県の多彩なコンテンツを体感いただき、三重県の魅力を国内外へ発信することで、三重県の認知度を高め、ブランドイメージの確立・浸透をはかるとともに、開催後のインバウンドをはじめとする観光客の増加や県産品の販売増につなげます。

### 2 取組方針

- (1) 県・市町の関係部局とも連携を図りながら、メディアの発信先や特性に応じてテーマ設定や訪問先などのコンテンツ選定を行い、三重の誇る食、文化・伝統、自然や産業技術等を効果的に発信できるように努めます。
- (2) 県内各地域の情報が国内外に広く発信できるよう、取材エリアの選定を工夫します。
- (3) 県民会議主催の事業だけでなく、外務省等の国関係機関や県の各部局、市町、各種団体等の行うメディア関連の事業に対し、コースやテーマ等の提案・調整を行い、これらの事業トータルで効果的なメディア発信を行う構成とします。
- (4) コースやテーマ設定の際には、多様な暮らしを営む県民（生産者、経営者、子ども、女性、高齢者等）が、できるだけ取材されるよう努めます。

### 3 事業の概要

単にプレスツアー等を実施するだけでなく、プレスツアーへの参加を呼び掛けるイベントを開催することでプレス等との関係を構築し、より効果的な情報発信に努めます。

#### (1) プレスツアー、ファムトリップ等

各種プレスツアーやファムトリップ等については、地域性、テーマ性も考慮しつつ県民会議からコース等の積極的な提案を行います。

- ① 県民会議主催プレスツアー（1泊2日）（3回）
- ② 外務省等主催のプレスツアー（8回程度）
- ③ 海外メディアやエージェントのファムトリップ（複数回） など

#### (2) プレスツアーの参加に向けた各種行事

プレスツアーを開催するに当たり、プレス等との関係性を構築しツアーへの参加を呼び掛けるため、11月18日の日本外国特派員協会での知事ブリーフィングなど東京での情報発信を行いました。

### 4 県民会議主催プレスツアーの選定プロセス

次のプロセスにてプレスツアーの行程を決定していきます。

- (1) 9月に実施した市町からの聞き取りに加え、県民会議が、適宜、シート〔時、委託先と視点調整したもの（例）視点→TPP、高齢者、子育て、環境、技術、防災、ユニークな人等〕を使って市町と情報交換し、直接ヒアリングをしながら様々な情報を集めます。
- (2) 県民会議が市町から収集した情報は委託先（フォーリンプレスセンター）に送付し、県民会議と委託先で複数のテーマを選定します。
- (3) 複数のテーマに基づき該当すると思われる取材候補のさらに詳しい情報を県民会議が市町等から収集します。

在京外国人プレスに注目されるように、関係市町と協議しながら、取材候補のより多くのアピールポイントを整理します。

- (4) 県民会議と委託先で、取材候補を選定し、現地訪問します。
- (5) 委託先との最終調整結果を県民会議が市町と取材候補に連絡し、共有します。このときに出来る限り理由も共有し、今後のインバウンドに生かしていただきます。

## 5 県民会議主催第1回プレスツアー（別紙1参照）

- (1) タイトル  
現代に伝える忍者の文化、特色ある農業ビジネスに挑む経営者たち
- (2) 実施時期  
平成27年12月7日から8日まで
- (3) 取材先  
「モクモク手づくりファーム」、「伊賀流忍者博物館」、「木の子の里」、「うれし野アグリ」「アグリ農園」

## 6 今後のプレスツアー（別紙2参照）

外務省等主催のプレスツアーについては、関係機関と調整しながら、県内の行程について、引き続き、県民会議から積極的に提案を行います。また、県民会議主催プレスツアーは外務省他主催のプレスツアー受入れ状況を勘案しながら、三重県全域の発信につながるよう開催地等を調整しながら実施します。県民会議主催の第2回プレスツアーについては、2月頃に東紀州方面での実施に向け関係部局と調整を進めていきます。

また、第3回プレスツアーは平成28年春ごろ、中南勢方面を中心としたエリアで検討しています。

以上

## 第1回伊勢志摩サミット三重県民会議主催海外プレスツアーの概要について

## 1. ツアーの概要

伊勢志摩サミット三重県民会議では、公益財団法人フォーリンプレスセンターに委託して、伊賀エリアを中心としたPTを実施したところ、5カ国のプレス11名(中国4名、韓国4名、ロシア1名、米国1名、ドイツ1名、メディア別ではTV5名、新聞5名、通信社1名)に参加いただきました。

## 2. 日程：2015年12月7日(月)、8日(火)

## ○モクモク手作りファーム

設立時に大手スーパーをターゲットにし、価格の壁に阻まれたという苦労話や非日常を演出する事業戦略を見出すまでの過程の説明を聞いた。記者からは今後の展開や現状の売上・収益について質問を行っていた。TVクルーは体験教室(ウインナー、豚まん)の参加者の様子も撮影していた。

## ○伊賀流忍者博物館

忍者博物館の歴史を聞いた後、「忍者とは」について三重大学山田教授から講義を受けた。忍術は知識の集合体であるということに興味を示していた。続いて三重大学久松名誉教授から「忍者と食」について講義を受けた。記者から「忍術」はサミットの警備に生かせるのかとの質問があった。

続いて、阿修羅と最後の忍者といわれている川上仁一先生の直弟子の清本氏の実演があり、じっくり見入っていた。

## ○アグリー農園

一主婦が食の安全・安心を求めて5年前に起業した時の苦労話を聞いた後、障がい者との出会いと農福連携のビジネスモデルを作るまでの経緯について説明を受けた。記者は、目の不自由な人が播種作業をする姿を熱心に取材していた。

## ○木の子の里

高齢者を元気にすることを目的に、試行錯誤でシメジづくりを始めた頃の苦労話や今後の展開について話を聞いた。記者から販売量や販売先や評判について質問があった。菌床を育てている現場では、育成プロセスを熱心に取材していた。

## ○うれし野アグリ

農業で日本の未来を変えたい3社が結集し、ミニトマトでは、国内最大かつ最高効率の生産を行う仕組みについて、熱心に耳を傾けていた。記者からは今後の方針や海外への販売実績や売上について質問があった。現場では、最新鋭の生産システムを熱心に取材していた。

## ○知事インタビュー

知事からの自己紹介ののち、取材先を踏まえ、6次産業化や農福連携についての考えについて質問があった。TPPの影響と対策等活発な質問が続いた。

## ○総括

特に農業は、どの取材訪問先も特色があり、記事を書きたいとコメントを複数人の記者からもらった。また、夕食は抜群においしかったと全員から評価いただいた。

### 3. 三重の食の発信

#### ○交流会（山水園）（夕食）

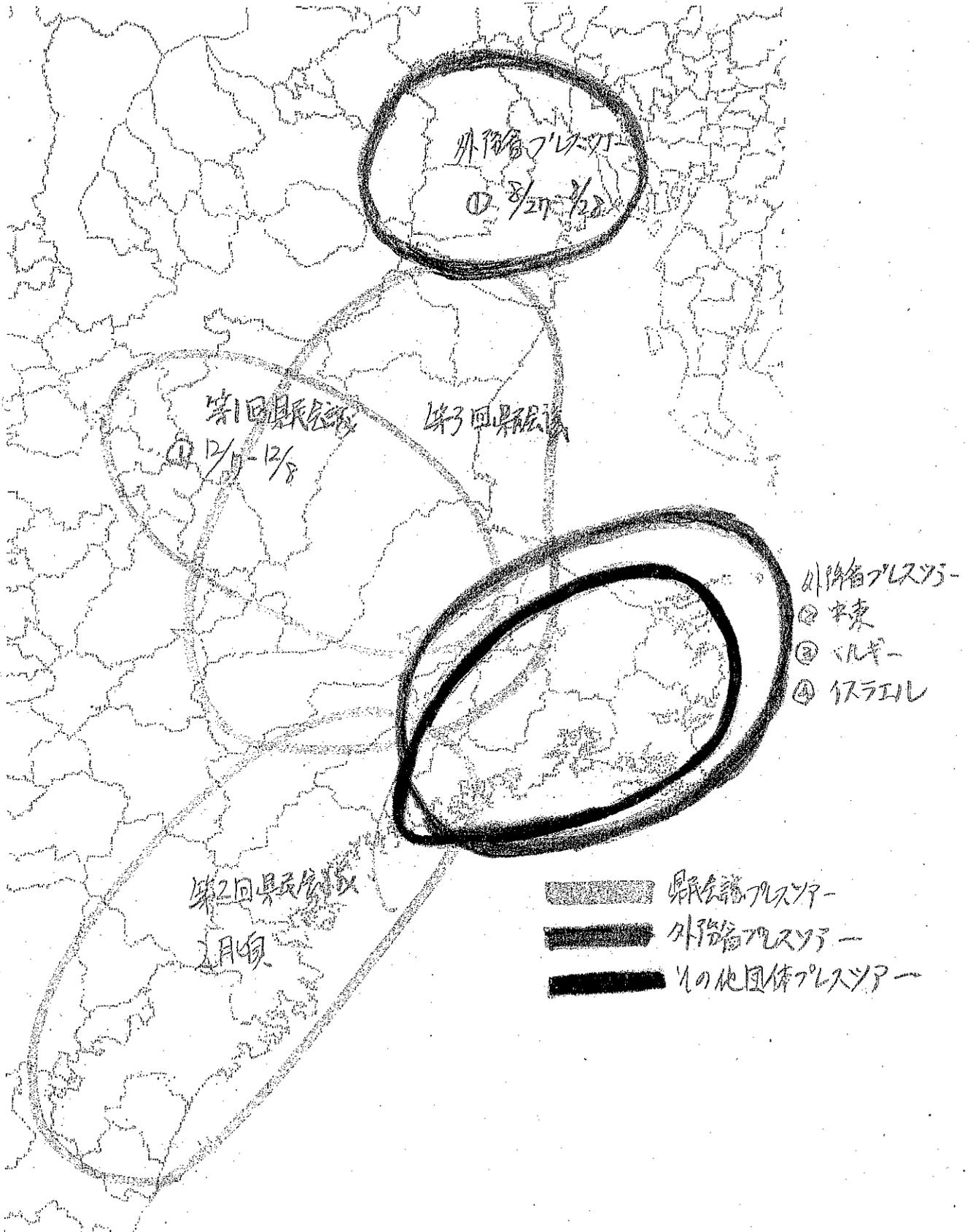
伊賀・名張の食材と取材先で訪問先した企業の食材をふんだんに使った伊賀尽くしの料理は、大変好評であった。取材先エリアの物産やポスターも交流会会場に展示され、熱心に見入っていた。

#### ○焼肉レストラン「奥田」（昼食）

伊賀牛の希少部位の焼肉に舌鼓を打っていた。ジューシーな肉にみな大変満足していた。

海外プレスツアー展開イメージ (案)

H27. 12. 18 現在





平成 27 年 12 月 18 日

事業推進課

## 三重県情報館（仮称）について

## 1 目的

国際メディアセンター（IMC）内に、国内外から来県する多数の報道関係者等を通じて、三重県の宝や誇り、三重県が持つ日本の素晴らしさを発信するための拠点として三重県情報館（仮称）を設置します。

## ■ねらい

国内外での知名度向上により、三重県へのインバウンド及び国内観光者の増加、県産品の輸出増加及び国内での需要拡大など三重の活性化につなげます。

## 2 事業の概要

基本コンセプトに基づき、日本の中の「地方」の代表として三重県の魅力を発信します。国との連携を密にし、国の広報と調和のとれた展開を目指します。

## (1) 基本コンセプトの方向性

三重県情報館では、県の持つ「伝統と革新」を「和の精神」という切り口で捉え、「静と動」の織り成す多様な魅力を発信します。

## (2) 展示コンテンツの見せ方、伝え方の方向性

効果的な構成となるよう、「できる限り本物であること」「五感に訴求すること」「奥行きあるストーリー性を持つこと」「おもてなしや人で感動できること」等に留意して効果的な演出を行います。

## (3) 展示コンテンツの選定について

今後、各市町、県関係部局、企業等から展示コンテンツの募集等を行い、コンテンツ選定委員会等を経て、展示コンテンツを選定します。

## 3 コンテンツ選定委員会について

## (1) コンテンツ選定委員会の設置要領及び選定委員

コンテンツ選定委員会の設置要領及び選定委員 6 名を 12 月 15 日の事業推進部会で決定しました。選定委員については次の通りです。

生駒芳子（フュートウラディションワオ プロデューサー）

大川吉崇（学校法人大川学園理事長）

坂美幸（月兎舎季刊 NAG I 編集長）

田中里沙（株式会社宣伝会議取締役副社長兼編集室長）

西村訓弘（三重大学副学長）

丸川竜也（株式会社イストグラフ代表）※五十音順

## (2) 今後のスケジュール（予定）

平成 28 年 1 月 ・ 第 1 回コンテンツ選定委員会  
（コンテンツ選定要領、展示カテゴリの決定）

・ コンテンツ募集  
（県、市町、企業・団体からの募集予定）

平成 28 年 2 月 ・ 第 2 回コンテンツ選定委員会  
（選定要領に沿った展示コンテンツの選定）

#### 4 取組状況

##### (1) 外務省との調整状況

- ・三重県情報館の設置に向けて、設置位置や面積などを調整しています。
- ・政府の広報スペースと三重県情報館が統一感のある調和がとれたものになるよう、展示コンテンツや見せ方を調整していきます。

##### (2) 東海地域との連携状況

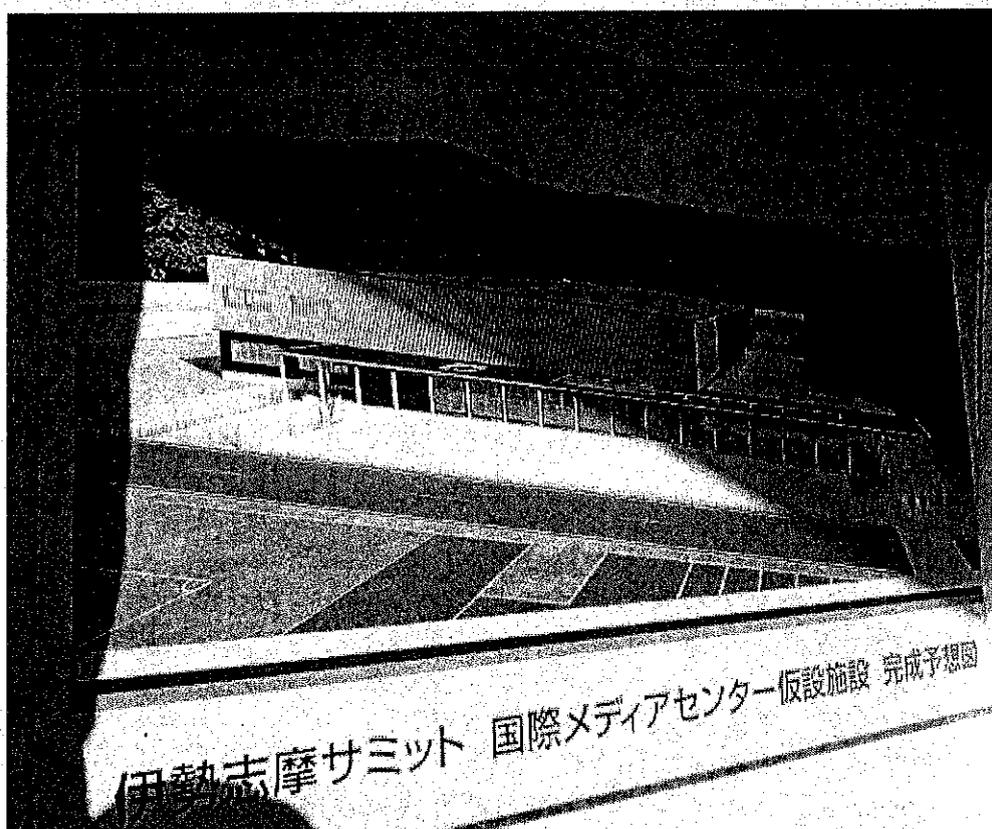
- ・政府の広報スペースで、東海地域の魅力を発信できるよう、東海三県一市担当課長会議から外務省に対し、展示コンテンツの提案を行う予定です。

#### 5 国際メディアセンターについて

国際メディアセンターは、報道関係者のスペース等を備えるサミット取材のための総合施設です。

##### ■施設概要

【場 所】 三重県伊勢市 ※県営サンアリーナ及び仮設施設



伊勢志摩サミット 国際メディアセンター仮設施設 完成予想図

平成27年12月17日 完成予想図除幕式にて撮影

平成 27 年 12 月 18 日

事業推進課

## 三重県情報誌及びプレス用ハンドブックの作成について

### 1 目的

伊勢志摩サミット開催に向けて、国内外報道関係者および G 7 各国代表団等に、三重県の情報等を提供することで、三重県への理解を深めていただくとともにサミット開催に対する報道活動をサポートする地域情報も提供し、記事等を通じた内外への情報発信を促進します。

### 2 事業の概要

#### (1) プロローグ版三重県情報誌の発行

「伝統と革新」を兼ね備えた三重県が誇る歴史、文化、伝統、食、先端技術を「三重県人」にフォーカスして紹介するプロローグ版三重県情報誌「CLOSE UP MIE」を発行し、飯倉公館で開催された「伊勢志摩サミット開催レセプション～三重へのいざない～」で各国大使館員、外国人報道機関関係者に既存のパンフレット等とファイルにセットして配布しました。今後は、プレスツアー等の機会を活用して国内外報道関係者等に配布します。(発行部数：日本語版 2 千部、英語版 2 千部)

#### (2) 三重県情報誌の発行

三重県を愛する方々へのインタビューを通じて、「伝統と革新」を兼ね備えた三重県を感じてもらうための三重県情報誌を作成し、プレスツアー、G 7 各国先遣隊、サミット開催時に来県する国内外報道関係者等に配布します。(発行部数：日本語版 8 千部、英語版 8 千部)

#### (3) プレス用ハンドブックの発行

県内マップ、交通案内、食事、観光、お土産情報など、サミット開催時と開催後に国内外報道関係者等の県内移動、滞在、取材活動、県内観光をスムーズに行える情報を掲載し、記者等の取材をサポートします。なお、発行時期は、4 月下旬を予定しています。

### 3 今後の進め方について

- ・プレス用ハンドブックの制作にあたっては、市町及び関係部局等と連携してより効果的な情報を掲載していきます。
- ・メディアの種類や国にあわせて、ターゲットに最も効果的なプレスキットとなるように準備していきます。
- ・伊勢志摩サミット三重県民会議のホームページに情報誌の内容を掲載することで、県外や海外に向けて発信します。



平成27年12月18日

事業推進課

## 多様な主体における国際理解・国際交流事業について

### 1 目的

伊勢志摩サミットの開催を契機として、サミット参加国について学ぶ機会を設け、学校や市町、民間企業・団体等、多様な主体が、国際理解・国際交流を深める機会を提供します。特に次代を担う子どもたちが多文化を理解し、国際的な視野や感覚を身に付けるきっかけとなることをめざします。

### 2 事業の概要

#### (1) 国際理解・国際交流プログラム

県民の皆様、サミット参加国について理解や交流を深めていただくため、園、学校、市町、企業、団体等、多様な主体が行う授業や講座等に、サミット参加国出身の在住外国人や留学生など、サミット参加国に詳しい方々を講師として派遣し、「国際理解・国際交流プログラム」を実施しています。

#### (2) 外務省事業「イチからわかる！サミット塾」の支援

外務省において実施する「イチからわかる！サミット塾」では、外務省の若手職員が講師となり、サミットや外交についてわかりやすい授業を、小・中・高等学校で、各5校程度ずつ実施します。県民会議では、当事業の取りまとめなど支援を行っています。

※実施期間 平成27年12月上旬～平成28年3月下旬

#### (3) パネル展示等による参加国紹介

サミット及びサミット参加国紹介、過去に開催されたサミットの年表、過去に日本で開催されたサミット当時の世相を紹介するパネルを作成しました。平成27年9月5日の第1回伊勢志摩サミットフォーラム以降、イベント等で展示しています。

#### (4) イベントへの出展

平成27年11月14日～15日、紀北町東長島スポーツ公園で開催された「第10回子育て応援！わくわくフェスタ」にブース出展し、伊勢志摩サミットのPRやサミット参加国の紹介を行いました。特に、子どもを対象として、子ども向けパネルの展示に加えて、サミット参加国等の国旗を利用したパズルや折鶴、手作りカウントダウンボードの作成など、楽しみながら理解を深めていただく取組を展開し、出来上がったカウントダウンボードを道の駅「紀伊長島マンボウ」に設置しました。

### 3 取組方針

- (1) 学校や市町、民間企業・団体等、多様な主体による取組が実施されるよう働きかけを行い、一人でも多くの県民がサミット参加国や多文化に関心を持てるよう、全県的な取組とします。
- (2) 取組情報等を報道に資料提供することで、パブリシティによる情報発信を行うとともに、取組への士気を高めます。

(3) 当事業を通じた取組を生かし、サミット終了後も継続する国際理解・国際交流事業の展開につなげていきます。

#### 4 「国際理解・国際交流プログラム」申込及び実施状況

○申込状況（平成27年12月10日（木）現在）

（延べ回数）

	北勢	中南勢	伊賀	伊勢志摩	東紀州	計
幼稚園・保育所	19	10	2	23	0	54
小学校	34	13	4	17	1	69
中学校	2	2	0	9	0	13
高等学校	2	0	3	3	0	8
特別支援学校	6	1	0	0	0	7
一般	4	1	2	3	0	10
計	67	27	11	55	1	161

○実施状況（平成27年12月10日（木）現在）

合計：11回

※第1回実施 平成27年11月30日（月）13時20分～14時10分

（公開） 三重県立鳥羽高等学校3年生10名

プログラム：「参加国の生活を知ろう」（イタリア）

#### 5 「イチからわかる！サミット塾」申込及び実施状況

○申込状況（平成27年11月30日（月）申込終了）

（回数）

	北勢	中南勢	伊賀	伊勢志摩	東紀州	計
小学校	7	1	3	8	0	19
中学校	3	0	0	3	1	7
高等学校	2	1	1	1	0	5
計	12	2	4	12	1	31

○実施状況（平成27年12月10日（木）現在）

合計：3回

※第1回実施 平成27年12月7日（月）14時55分～15時45分

（公開） 三重県立上野高等学校1、2年生558名

#### 6 今後の進め方

学校や市町、民間企業・団体等と連携し、「国際理解・国際交流プログラム」及び「イチからわかる！サミット塾」の事業を推進するとともに、上記「2（3）」の参加国紹介のパネルを行政機関や民間企業等に貸出し展示していただくことで、全県的な国際理解・国際交流につなげ、おもてなし機運の醸成につなげていきます。

平成 27 年 12 月 18 日  
開催支援課

## インフォメーション機能の整備について

## 1 目的

伊勢志摩サミットの開催に際して、移動・滞在・観光等のインフォメーション機能を充実させることで、世界各国からの来県者（主に報道関係者）をおもてなしの心で迎え支援を行うとともに、各地域の情報発信などを行う。

## 2 取組内容

## (1) インフォメーションセンター設置場所と活動内容

## ① 主要拠点（運営主体：三重県民会議）

- ・国際メディアセンター内
- ・滞在期間中の活動支援全般と三重県の情報発信

## ② 県内主要ターミナル（運営主体：各所在地の市町・団体等）

- ・JR 津駅、なぎさまち旅客ターミナル、JR 松阪駅、JR 伊勢市駅  
近鉄宇治山田駅、近鉄鳥羽駅、近鉄鶯方駅等、メディア関係者が宿泊・取材等で利用する可能性の高い施設
- ・宿泊先・国際メディアセンター等への移動支援と現地観光案内

## ③ 三重県外（運営主体：伊勢志摩サミット東海会議）

- ・中部国際空港、名古屋駅等
- ・現地への移動支援（名鉄・JR・近鉄間の乗換案内等）と三重県及び中部地域の情報発信

## (2) 運営スタッフ（上記①②③は次の通り）

## ① 県民会議スタッフ、業務委託先スタッフ、外国語案内ボランティア

## ② 運営主体のスタッフと外国語案内ボランティア

## ③ 運営主体のスタッフと県民会議スタッフ

※センターを設置しない市町の観光案内所スタッフ等も実践研修の場として参加可能とする。

## 3 取組方針

(1) 三重県及びサミット関連の情報発信資料は各拠点で共通で使用できるものを県民会議で用意する。各拠点ごとの独自の資料、サービス内容は各運営主体が企画・手配する。

(2) 三重県内の拠点で必要となる外国語案内ボランティアは、県民会議が一括して募集し、各拠点に派遣する。

(3) インフォメーションセンタースタッフとして全拠点に共通して必要なサミット関連の知識や接遇方法等については、外国語案内ボランティア以外のスタッフについても合同で研修を行う。また主に外国人を対象とした接遇用ハンドブックを制作し広く活用する。

## 4 今後のスケジュール

平成 27 年	9 月 ~ 12 月	各運営主体との設置に係る調整
平成 28 年	2 月 ~ 4 月	ボランティア、スタッフ研修
平成 28 年	5 月 20 日（金） ~ 28 日（土）	インフォメーション設置



平成 27 年 12 月 18 日

開催支援課

## 外国語案内ボランティアについて

### 1 目的

伊勢志摩サミットの開催に際して、国際メディアセンターや県内主要駅等に設置するインフォメーションセンター等において、主に外国人報道関係者に対し、円滑な取材・報道活動を行っていただくため、外国語による交通や観光の案内、三重県の情報発信等の支援を行う。

### 2 取組内容

#### (1) 募集

外国語(主に英語)による案内業務が可能なボランティアを公募しました。

募集対象：県内外の一般、大学生、外国人留学生及び高校生等

(平成 28 年 4 月 1 日現在で 15 歳以上の方)

募集期間：平成 27 年 10 月 30 日～12 月 10 日

募集人数：200 人程度

応募者数：1003 人

#### (2) 研修

ボランティア参加者は、語学研修及び接遇研修の受講を必須とし、今後の活動を見据えたレベルアップを図ります。

#### (3) 活動

県内に設置されるインフォメーションセンター等において、移動・滞在・観光等の情報提供を通じて主に外国人報道関係者を支援します。

### 3 取組方針

(1) 募集、研修及びコーディネート業務を企画提案コンペにより外部委託する。

【委託先】公益財団法人三重県国際交流財団

(2) 募集にあたり、県内の語学ボランティア団体等とも連携・協力を図る。

(3) 幅広い県民参加の機会となるよう選考を行う。

(4) ボランティア参加者が、以後、県内で開催される MICE、外国人観光客のおもてなし及び各種ボランティアにおいて引き続き活動できる仕組みづくりに取り組む。

(5) インフォメーションセンター以外のサミット関連事業での外国語ボランティア派遣の要望についても対応することを検討する。

(6) 個人での応募以外に、企業単位での協力申請がある場合は別途対応する。

### 4 今後のスケジュール(予定)

平成 27 年 10 月 30 日～12 月 10 日	ボランティア募集
12 月～平成 28 年 1 月	ボランティア選考・通知
平成 28 年 2 月～4 月	ボランティア研修(語学、接遇)
4 月～5 月	ボランティア結団式
5 月 20 日～28 日	インフォメーションセンターでの活動
6 月	ボランティア解散式



平成 27 年 12 月 18 日  
開催支援課

## 外務省飯倉公館でのセミナー及びレセプションの開催について

10月27日(火)、外務省飯倉公館で、駐日外交団、駐日商工会議所、外国プレス等を対象に、伊勢志摩サミットに向けたセミナー及びレセプションを開催しました。

1 伊勢志摩サミット開催記念セミナー「伝統と革新～日本のこころを三重から世界へ～」  
(三重県主催、外務省協力)

16時30分から17時30分まで

出席者：約70人

## ・トークセッション「世界から見た三重の魅力！」

【出席者】井原慶子氏(カーレーサー/慶應義塾大学大学院特任准教授)

片山右京氏(元F1ドライバー/Team Ukyo(チーム右京)代表)

鈴木亜久里氏(元F1ドライバー/ARTA Project プロデューサー  
/AUTOBACS RACING TEAM AGURI 代表・監督)

## ・講演及び対談「日本人の心のふるさと伊勢神宮」

【出席者】(講演)神宮禰宜/神宮司廳文化部長 河合真如氏

(対談)神宮大宮司 鷹司尚武氏

三重県知事 鈴木英敬

## 2 伊勢志摩サミット開催レセプション～三重へのいざない～(外務省及び三重県の共催)

18時から19時30分まで

出席者：約300人

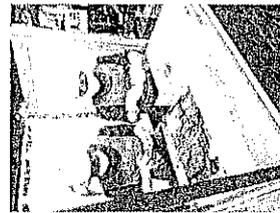
・冒頭、主催者である岸田外務大臣及び鈴木三重県知事の挨拶に加え、安倍総理大臣からもビデオにてメッセージをいただきました。

・今回のレセプションでは、三重の伝統と革新を体感できる特産品や先端技術等を紹介する様々なブースを設けるとともに、ステージでは和楽器によるオーケストラの演奏や伊勢音頭の披露等を行いました。また、提供する料理については、三重の食材等を可能な限り多く取り入れたメニューとなるよう、外務省が委託した事業者と調整を行いました。

# 伊勢志摩サミット開催レセプション ～三重へのいざない～

10月27日(火)、外務省飯倉公館において、三重の地に静かに息づく自然や伝統と、世界をリードし未来を動かそうとする革新の技を、【日本の原風景・心のふるさと三重】、【常に新しく、未来を生み出す三重】の2つのテーマで展開し、駐日外交団、駐日商工会議所、外国プレス等の方々に、サミット開催地三重の魅力・ポテンシャルを体感していただきました。

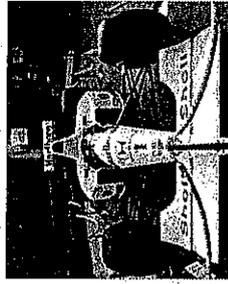
## 【日本の原風景・心のふるさと三重】



江戸時代から続く伊勢のおもてなし  
赤福茶屋(試食・呈茶)

エントランス

日本が誇るものづくりの技術がお出迎え  
F1マシン(マクラーレンホンダ)

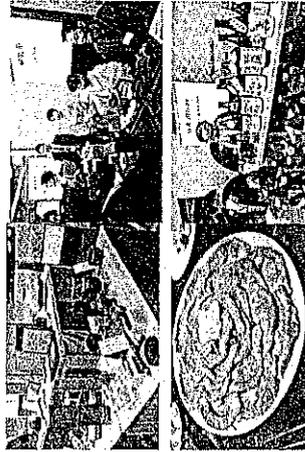


### 御食つ国のおもてなし

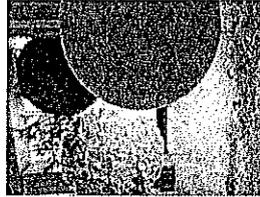
地酒・松阪牛・伊勢えび・熊野地鶏・南紀みかん・伊賀コシヒカリ・伊勢茶 etc

## 三重で育まれた自然・伝統・文化を体感

- ・真珠
- ・海女文化
- ・伊賀くみひも
- ・伊勢形紙



会場装飾  
自然の恵み × 人の技術 × アート

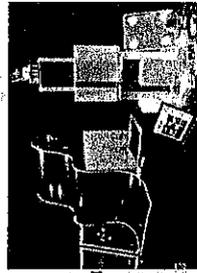


三重の食 × 三重の未来を担う高校生

高校生レストラン

## 三重が世界に誇る最先端技術を展示

- ・小型旅客機MRJ模型
- ・NAND型フラッシュメモリ
- ・超低消費電力テクノロジー使用のLSI製品
- ・有機薄膜太陽電池



## 伊勢志摩の自然・文化に触れる映像

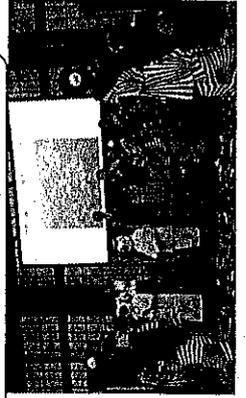
ステージパフォーマンス

AUN-J(AUN J-CLASSIC ORCHESTRA)による和楽器演奏



エンディング

荷物にならない伊勢みやげ 「伊勢音頭」



平成27年12月18日  
開催支援課

## 各国首脳等と県民との交流について ～「世界との絆づくり」～

### 1 目的

来県される各国首脳等や配偶者による市町等訪問、地域住民との交流を通じて、地域の国際化や情報発信、学生や子ども達のサミットへの参加意識を高め、各国と地域の一層の関係強化につなげていく。

### 2 取組方針

#### (1) サミット参加各国等と県内市町及び県内高等教育機関とのつながり

県内市町及び県内高等教育機関（以下、「県内市町等」。）とサミット参加各国等とのこれまでのつながりや、未来に向けた関係強化の動きを生かした交流を実施する。

#### (2) 一層の関係強化、地域の伝統文化、特産品の発信

交流にあたっては、サミット参加各国等の歓迎等に加え、県内市町等とサミット参加各国等の一層の関係強化につながる内容とし、かつ、機会を捉えた地域の伝統文化、特産品の発信を実施する。

#### (3) 県と県内市町等との連携

交流プログラムの立案、調整、実施に際しては、県及び県民会議と県内市町等で連携して実施する。

### 3 事業の概要

伊勢志摩サミット開催前後に、各国首脳等や配偶者が県内市町等を訪問し、姉妹都市関係、大学間協定をはじめとする歴史、文化、教育、産業などのつながりを踏まえた、記念事業、伝統文化の紹介などの交流プログラムを実施する。

### 4 今後の進め方

各国首脳等や配偶者と県民との交流実現に向け、交流プログラム案を基に各国に対し働きかけを行っていく。

なお、交流プログラム案について、セキュリティ等の観点から内容等は非公表として進める。

